

美里町公共施設個別施設計画

令和2年3月
美里町

美里町公共施設個別施設計画

○美里町全体編

○美里町学校教育系施設編

○美里町資料編

(注)

「美里町学校教育系施設編」は「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」(平成29年3月 文部科学省)の考え方により、美里町が保有する学校教育系施設のうち、各学校の教室、体育館及び給食室（以下「学校計画対象施設」という。）を対象として作成しています。

「美里町全体編」では、町全体の状況を把握するため、次の部分で学校計画対象施設を含んでいます。

第1章

1. 5 老朽化の状況

第2章

2. 1 劣化状況調査

2. 2 劣化度評価

第4章

4. 2 改修・更新等費用の見通し

第5章

5. 5 学校教育系施設

美里町全体編

目 次

第1章 計画の目的等	1
1.1 目的	1
1.2 位置づけ	1
1.3 計画期間	1
1.4 対象施設	1
1.5 老朽化の状況	4
第2章 劣化状況調査及び劣化度評価	5
2.1 劣化状況調査	5
2.2 劣化度評価	8
第3章 長寿命化の基本方針	14
3.1 長寿命化の基本方針	14
3.2 修繕等の方針	18
3.3 施設整備の水準	19
第4章 改修・更新等費用の見通し	21
4.1 算定条件	21
4.2 改修・更新等費用の見通し	23
第5章 施設類型別長期保全計画	25
5.1 町民文化系施設	25
5.2 社会教育系施設	32
5.3 スポーツ・レクリエーション系施設	34
5.4 産業系施設	37
5.5 学校教育系施設	38
5.6 保健・福祉施設	53
5.7 行政系施設（庁舎等）	55
5.8 行政系施設（その他行政系施設）	59
5.9 公園	61
5.10 その他	63
第6章 継続的運用方針	64
6.1 情報基盤の整備と活用	64
6.2 推進体制等の整備	64
6.3 フォローアップ	64

第1章 計画の目的等

1.1 目的

本町では、平成28年3月に公共施設、インフラ資産に関する現状や将来の見通しを把握し、総合的かつ計画的な管理を行うことを目的として、「美里町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

「美里町公共施設等総合管理計画」を受けて、本町では、公共施設の維持管理を適切に行うにあたり、厳しい財政状況の下、施設の安全性を確保し機能向上を図るために「美里町公共施設個別施設計画美里町全体編」（以下「本計画」という。）を策定するものです。

1.2 位置づけ

本計画は、国の「インフラ長寿命化基本計画」に基づく個別施設計画であり、本町における公共施設の管理方針や推進体制を定めた「美里町公共施設等総合管理計画」を前提として作成します。

1.3 計画期間

「美里町公共施設等総合管理計画」の計画期間である平成28年度（2016）から令和37年度（2055）までの40年と合わせることとしますが、本計画は、令和2年（2020）3月策定のため、計画期間を令和2年度（2020）から令和37年度（2055）までの36年とします。

なお、今後の本町を取り巻く社会情勢の変化など、必要に応じて適宜見直しを行うものとします。

計画期間	36年（令和2年度（2020）から令和37年度（2055）まで）
------	----------------------------------

1.4 対象施設

本町が保有する公共施設を対象とし、対象施設の名称、構造、竣工年度や床面積は次表のとおりです。

学校教育系施設のうち、各学校の教室、体育館及び給食室（以下「学校計画対象施設」という。）については、「美里町学校教育系施設編」の対象ですが、本計画では、町全体の状況を把握するため、次の部分で学校計画対象施設を含んで記載しています。

- 1.5 老朽化の状況
- 2.1 劣化状況調査
- 2.2 劣化度評価
- 4.2 改修・更新等費用の見通し
- 5.5 学校教育系施設

「美里町公共施設等総合管理計画」の対象施設のうち、農村文化センターは平成30年(2018)取壊しのため除いています。また、防災倉庫(平成30年(2018)竣工)及び産業団地公園トイレ(令和元年(2019)取得)を本計画では加えています。

表1－1 対象施設一覧(その1)

大分類	施設名	学校	建物名	構造	竣工年度	経過年数	現況総床面積
町民文化系施設	松久公民館		公民館	鉄骨造	1983	37	350.00
	東児玉公民館		公民館	鉄骨造	1985	35	400.00
			屋外トイレ	鉄骨造	2015	5	9.90
	大沢公民館		公民館	鉄骨造	1990	30	333.47
	中央公民館		公民館	鉄筋コンクリート造	1986	34	1101.40
	遺跡の森館		遺跡の森館	鉄筋コンクリート造	1992	28	2889.80
	陶芸棟		陶芸棟	コンクリートブロック造	1997	23	34.08
	水殿瓦窯跡覆屋		水殿瓦窯跡	木造	1931	89	21.51
社会教育系施設	図書館		図書館	鉄骨造	1999	21	524.28
スポーツ・レクリエーション系施設	町民体育館		町民体育館	鉄筋コンクリート造	1985	35	1620.15
	町民武道館		町民武道館	鉄骨造	1988	32	622.86
	駅前情報館		駅前情報館	鉄骨造	2011	9	37.20
産業系施設	就業改善センター		就業改善センター	鉄筋コンクリート造	1978	42	465.75
学校教育系施設	松久小学校		○ 教室	鉄筋コンクリート造	1972	48	2430.02
			○ 体育館	鉄筋コンクリート造	1976	44	802.98
			○ 給食室	鉄筋コンクリート造	1981	39	109.80
			プール施設	コンクリートブロック造	1969	51	43.12
			物置	軽量鉄骨造	1991	29	20.66
			物置	コンクリートブロック造	1973	47	108.00
			ガス庫	軽量鉄骨造	1972	48	4.40
			プールポンプ室	コンクリートブロック造	1969	51	9.14
			○ 教室1	鉄筋コンクリート造	1977	43	1631.90
			○ 教室2	鉄筋コンクリート造	1979	41	1456.54
	東児玉小学校		○ 体育館	鉄筋コンクリート造	1974	46	912.26
			○ 給食室	鉄筋コンクリート造	1979	41	139.50
			物置(宿直室)	木造	1987	33	52.99
			ガス庫1	コンクリートブロック造	1977	43	7.92
			ガス庫2	コンクリートブロック造	1977	43	2.31
			浄化槽ポンプ室	コンクリートブロック造	1977	43	7.68
			ポンプ室	コンクリートブロック造	1977	43	15.54
			オイルギアポンプ室	コンクリートブロック造	1977	43	2.55
			鳥小屋	木造	1990	30	15.00
			更衣室	軽量鉄骨造	1974	46	33.60
			体育器具庫	コンクリートブロック造	1994	26	85.00
			プールポンプ室	コンクリートブロック造	1968	52	9.30
			屋外トイレ	コンクリートブロック造	1968	52	7.21
			物置(中庭)	軽量鉄骨造	1977	43	11.42
大沢小学校			○ 教室	鉄筋コンクリート造	1982	38	2458.75
			○ 体育館	鉄筋コンクリート造	1972	48	608.22
			○ 給食室	鉄筋コンクリート造	1982	38	108.54
			物置(宿直室)	木造	1982	38	48.85
			石灰小屋(ガス庫)	コンクリートブロック造	1982	38	4.00
			鳥小屋	木造	1990	30	4.32
			物置	軽量鉄骨造	1995	25	31.50
			プール付属室	鉄骨造	1982	38	44.55
			プールポンプ室	鉄骨造	1982	38	20.95
			体育器具倉庫	コンクリートブロック造	1982	38	38.88
			便所	鉄筋コンクリート造	1998	22	14.05
			○ 教室1	鉄筋コンクリート造	2011	9	5401.40
			○ 教室(多目的棟)	鉄筋コンクリート造	1990	30	936.78
			○ 教室2	鉄筋コンクリート造	1990	30	278.10
			○ 体育館	鉄筋コンクリート造	1969	51	1774.20
美里中学校			○ 給食室	鉄骨造	2011	9	404.98
			部室(南)	コンクリートブロック造	1993	27	38.88
			体育器具室	コンクリートブロック造	1989	31	28.46
			部室(東)	コンクリートブロック造	1993	27	38.88
			便所	鉄筋コンクリート造	2000	20	37.56
			部室(北)	コンクリートブロック造	1972	48	58.32
			プールポンプ室	コンクリートブロック造	1970	50	12.88
			連絡通路	鉄骨造	2011	9	79.64
			物置	鉄骨造	2012	8	26.37
			ポンプ室	コンクリートブロック造	1968	52	13.30

表1－1 対象施設一覧（その2）

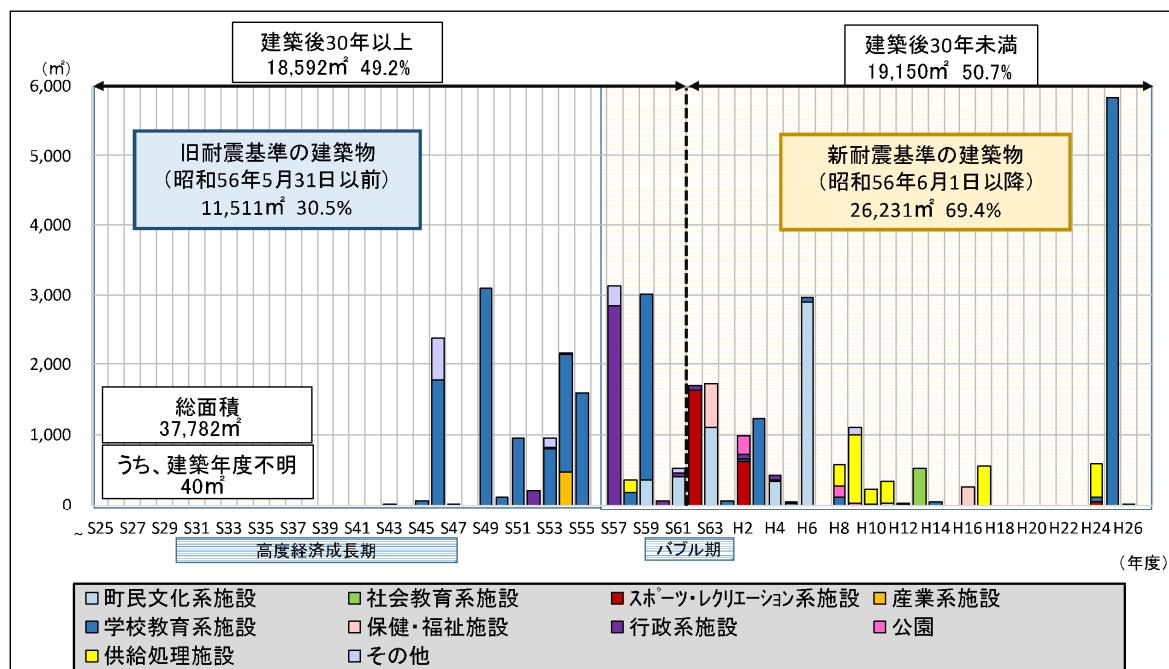
大分類	施設名	学校	建物名	構造	竣工年度	経過年数	現況総床面積
保健・福祉施設	保健センター		保健センター	鉄筋コンクリート造	1987	33	619.87
			保健センター(増築)	鉄骨造	2003	17	250.95
行政系施設	役場庁舎		本庁舎	鉄筋コンクリート造	1980	40	2850.70
	旧農林商工課		旧農林商工課事務室	鉄骨造	1977	43	200.00
	防災拠点施設		防災倉庫	鉄骨造	2018	2	414.00
	消防団詰所		第1分団詰所	コンクリートブロック造	1985	35	65.03
			第2分団詰所	鉄骨造	1984	36	59.71
			第3分団詰所	コンクリートブロック造	1988	32	65.03
			第4分団詰所	コンクリートブロック造	1983	37	55.12
			第5分団詰所	コンクリートブロック造	1990	30	65.03
公園	遺跡の森総合公園		車庫	コンクリートブロック造	1994	26	124.79
			グランドステージ	鉄筋コンクリート造	1989	31	36.08
			グランドベンチ	鉄筋コンクリート造	1989	31	81.88
			アナウンス室	鉄筋コンクリート造	1989	31	25.74
			便所1	コンクリートブロック造	1994	26	27.95
			便所2	コンクリートブロック造	1988	32	23.10
			便所3	コンクリートブロック造	1995	25	27.95
			シャワー棟	鉄骨造	1988	32	63.13
			ゲートボール管理室	木造	1988	32	35.00
			身剣川公園	便所	プレハブ造	1997	23
	農村公園		便所	木造	2012	8	6.43
	産業団地公園		トイレ	プレハブ造	2019	1	13.80
その他	ストックヤード		ストックヤード	コンクリートブロック造	1988	32	20.44
	車庫(建設車両)		建設車両車庫	軽量鉄骨造	1984	36	62.37
	庁用車車庫		庁用町長車車庫	軽量鉄骨造	1976	44	126.00
			庁用車車庫	軽量鉄骨造	1981	39	281.40
			庁用車バス車庫	軽量鉄骨造	1995	25	87.72

学校欄に○印のある施設は学校計画対象施設

1.5 老朽化の状況

「美里町公共施設等総合管理計画」によれば、本町の公共施設のうち、建築後30年以上経過している建物は $18,592\text{m}^2$ (49.2%) を占めています。

昭和56年以前に旧耐震基準で建築された建物は $11,511\text{m}^2$ (30.5%) となっています。



第2章 劣化状況調査及び劣化度評価

2.1 劣化状況調査

(1) 劣化状況調査の概要

劣化状況調査は、「劣化状況調査マニュアル」に基づき、建築部位等について、目視により実施します。

劣化状況調査の主な項目は、次表のとおりです。

表2-1 劣化状況調査の主な調査項目

部位・設備	主な調査項目
1. 建築部位	
1-1 屋根	防水保護層の浮き・き裂等、排水口・排水溝のつまり等、雨樋・縦樋の支持金具の不良等、外階段のサビ等
1-2 外壁	仕上げ材の浮き・剥離等、吹付等の浮き・剥離等、目地材のひび割れ等
1-3 建具	窓サッシ・ドア等のサビ・変形等
1-4 内部仕上げ	天井の漏水跡、天井仕上げ材の浮き、たわみ等、壁・床の仕上げ材の浮き、剥離等
1-5 内部その他	階段の手すり・踏面の損傷等、防火戸・シャッターの変形等
2. 電気設備	電気機器のサビ、異音・異臭等、外灯の傾き、破損等
3. 機械設備	給排水設備、空調・換気設備、衛生設備
4. 建物劣化（構造別）	ひび割れ、剥離、鉄骨の腐食、建物の傾き等
5. 基礎及び地盤	土間コンクリートのひび割れ・損傷、基礎のひび割れ・鉄筋露出、地盤沈下

(2) 劣化状況調査の対象建物

劣化状況調査の対象建物は、原則として延床面積200m²以上、かつ築年数20年以上としていますが、必要に応じて対象を追加していきます。

今回は、就業改善センター（取壊しを検討）、防災倉庫（平成30年（2018）竣工）及び産業団地公園トイレ（令和元年（2019）取得）を除く全ての建物について、劣化状況調査を実施しました。劣化状況調査を実施した建物は、次表のとおりです。

表2-2 劣化状況調査の対象建物一覧（その1）

大分類	施設名	学校	建物名	構造	竣工年度	経過年数	現況総床面積
町民文化系施設	松久公民館		公民館	鉄骨造	1983	37	350.00
	東児玉公民館		公民館	鉄骨造	1985	35	400.00
	大沢公民館		屋外トイレ	鉄骨造	2015	5	9.90
	中央公民館		公民館	鉄骨造	1990	30	333.47
	遺跡の森館		遺跡の森館	鉄筋コンクリート造	1986	34	1101.40
	陶芸棟		陶芸棟	コンクリートブロック造	1997	23	34.08
	水殿瓦窯跡覆屋		水殿瓦窯跡	木造	1931	89	21.51
社会教育系施設	図書館		図書館	鉄骨造	1999	21	524.28
スポーツ・レクリエーション系施設	市民体育館		市民体育館	鉄筋コンクリート造	1985	35	1620.15
	市民武道館		市民武道館	鉄骨造	1988	32	622.86
	駅前情報館		駅前情報館	鉄骨造	2011	9	37.20
	○ 教室	松久小学校	鉄筋コンクリート造	1972	48	2430.02	
	○ 体育館		鉄筋コンクリート造	1976	44	802.98	
	○ 給食室		鉄筋コンクリート造	1981	39	109.80	
	プール施設		コンクリートブロック造	1969	51	43.12	
	物置		軽量鉄骨造	1991	29	20.66	
	物置		コンクリートブロック造	1973	47	108.00	
	ガス庫		軽量鉄骨造	1972	48	4.40	
	プールポンプ室		コンクリートブロック造	1969	51	9.14	
学校教育系施設	○ 教室1	東児玉小学校	鉄筋コンクリート造	1977	43	1631.90	
	○ 教室2		鉄筋コンクリート造	1979	41	1456.54	
	○ 体育館		鉄筋コンクリート造	1974	46	912.26	
	○ 給食室		鉄筋コンクリート造	1979	41	139.50	
	物置(宿直室)		木造	1987	33	52.99	
	ガス庫1		コンクリートブロック造	1977	43	7.92	
	ガス庫2		コンクリートブロック造	1977	43	2.31	
	浄化槽ポンプ室		コンクリートブロック造	1977	43	7.68	
	ポンプ室		コンクリートブロック造	1977	43	15.54	
	オイルギアポンプ室		コンクリートブロック造	1977	43	2.55	
	鳥小屋		木造	1990	30	15.00	
	更衣室		軽量鉄骨造	1974	46	33.60	
	体育器具庫		コンクリートブロック造	1994	26	85.00	
	プールポンプ室		コンクリートブロック造	1968	52	9.30	
	屋外トイレ		コンクリートブロック造	1968	52	7.21	
	物置(中庭)		軽量鉄骨造	1977	43	11.42	
○ 教室	大沢小学校	鉄筋コンクリート造	1982	38	2458.75		
		○ 体育館	鉄筋コンクリート造	1972	48	608.22	
		○ 給食室	鉄筋コンクリート造	1982	38	108.54	
		物置(宿直室)	木造	1982	38	48.85	
		石灰小屋(ガス庫)	コンクリートブロック造	1982	38	4.00	
		鳥小屋	木造	1990	30	4.32	
		物置	軽量鉄骨造	1995	25	31.50	
		プール付属室	鉄骨造	1982	38	44.55	
美里中学校	○ 体育館	美里中学校	鉄骨造	1982	38	20.95	
	○ 給食室		コンクリートブロック造	1982	38	38.88	
	○ 部室		鉄筋コンクリート造	1998	22	14.05	
	○ 教室1		鉄筋コンクリート造	2011	9	5401.40	
	○ 教室(多目的棟)		鉄筋コンクリート造	1990	30	936.78	
	○ 教室2		鉄筋コンクリート造	1990	30	278.10	
	○ 体育館		鉄筋コンクリート造	1969	51	1774.20	
	○ 給食室		鉄骨造	2011	9	404.98	
	○ 部室(南)		コンクリートブロック造	1993	27	38.88	
	○ 体育器具室		コンクリートブロック造	1989	31	28.46	
	○ 部室(東)		コンクリートブロック造	1993	27	38.88	
	○ 便所		鉄筋コンクリート造	2000	20	37.56	
	○ 部室(北)		コンクリートブロック造	1972	48	58.32	
	○ プールポンプ室		コンクリートブロック造	1970	50	12.88	
	○ 連絡通路		鉄骨造	2011	9	79.64	
	○ 物置		鉄骨造	2012	8	26.37	
	○ ポンプ室		コンクリートブロック造	1968	52	13.30	

表2－2 劣化状況調査の対象建物一覧（その2）

大分類	施設名	学校	建物名	構造	竣工年度	経過年数	現況総床面積
保健・福祉施設	保健センター		保健センター	鉄筋コンクリート造	1987	33	619.87
			保健センター(増築)	鉄骨造	2003	17	250.95
行政系施設	役場庁舎		本庁舎	鉄筋コンクリート造	1980	40	2850.70
	旧農林商工課		旧農林商工課事務室	鉄骨造	1977	43	200.00
	消防団詰所		第1分団詰所	コンクリートブロック造	1985	35	65.03
			第2分団詰所	鉄骨造	1984	36	59.71
			第3分団詰所	コンクリートブロック造	1988	32	65.03
			第4分団詰所	コンクリートブロック造	1983	37	55.12
			第5分団詰所	コンクリートブロック造	1990	30	65.03
公園	遺跡の森総合公園		車庫	コンクリートブロック造	1994	26	124.79
			グランドステージ	鉄筋コンクリート造	1989	31	36.08
			グランドベンチ	鉄筋コンクリート造	1989	31	81.88
			アナウンス室	鉄筋コンクリート造	1989	31	25.74
			便所1	コンクリートブロック造	1994	26	27.95
			便所2	コンクリートブロック造	1988	32	23.10
			便所3	コンクリートブロック造	1995	25	27.95
			シャワー棟	鉄骨造	1988	32	63.13
			ゲートボール管理室	木造	1988	32	35.00
			身剣川公園	便所	プレハブ造	1997	23
	農村公園		便所	木造	2012	8	6.43
その他施設	ストックヤード		ストックヤード	コンクリートブロック造	1988	32	20.44
	車庫(建設車両)		建設車両車庫	軽量鉄骨造	1984	36	62.37
	庁用車車庫		庁用町長車車庫	軽量鉄骨造	1976	44	126.00
			庁用車車庫	軽量鉄骨造	1981	39	281.40
			庁用車バス車庫	軽量鉄骨造	1995	25	87.72

学校欄に○印のある施設は学校計画対象施設

2.2 劣化度評価

(1) 劣化度評価の方法

劣化度評価は、劣化状況調査の項目のうち、特に全般的な建物の維持・保全に関連が高い項目を用いて点数化しています。詳細については、資料編「1. 劣化度評価の方法」に掲載します。

表2-4 劣化度評価基準例

基 準	劣化度
○：損傷がない	1.0
□：わずかに損傷がみられる	0.8
△：損傷がみられる	0.5
×：著しい損傷がみられる	0.25

(2) 施設・棟ごとの修繕等の優先度

劣化度評価結果をA～Dの4区分にして、劣化状況に応じて修繕等の優先度を設定します。

表2-5 評価区分

劣化度評価結果	評価区分	劣化状況	修繕等の優先度
劣化度 1.0	A	概ね良好	低
劣化度 0.6 以上 1.0 未満	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	普通
劣化度 0.3 以上 0.6 未満	C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）	優先
劣化度 0.3 未満	D	早急に対応する必要がある。 (安全上、機能上、問題あり) (構造躯体(※)の耐久性に影響を与えてる) (設備が故障し、施設運営に支障を与えてる) 等	最優先

※構造躯体：建築物の構造体のこと。基礎、壁、柱等をいう。

(3) 劣化度評価結果

施設・棟の部位別劣化度評価の結果は、下表のとおりです。

表2-6 劣化度評価結果一覧（その1）

大分類	名称 棟名	経過年数	1. 建築部位					2. 電気	3. 機械	4. 建物劣化度	5. 構造・基礎の劣化度
			1-1屋根	1-2外壁	1-3建具	1-4内部 仕上げ	1-5内部 その他				
町民文化系施設	松久公民館 公民館	37	B	B	C	C	C	B	B	A	A
	東児玉公民館 公民館	35	D	C	C	C	C	B	B	B	A
	東児玉公民館 屋外トイレ	5	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	大沢公民館 公民館	30	B	C	B	C	C	B	B	A	A
	中央公民館 公民館	34	D	C	B	C	C	C	C	B	B
	遺跡の森館 遺跡の森館	28	B	B	B	B	B	B	B	B	A
	陶芸棟 陶芸棟	23	A	B	A	C	A	A	A	A	A
	水殿瓦窯跡覆屋 水殿瓦窯跡	89	A	B	A	B	A	-	-	A	A
社会教育系施設	図書館 図書館	21	A	B	A	A	A	A	A	A	A
スポーツ・レクリエーション系施設	町民体育館 町民体育館	35	C	C	B	C	C	B	B	A	A
	町民武道館 町民武道館	32	C	B	B	C	C	B	B	A	A
	駅前情報館 駅前情報館	9	A	B	B	A	A	A	C	A	A
学校教育系施設	松久小学校 教室	48	B	B	C	B	B	B	A	A	A
	松久小学校 体育館	44	A	A	B	B	B	A	A	A	B
	松久小学校 給食室	39	B	C	B	C	C	A	B	B	A
	松久小学校 プール施設	51	D	C	B	C	B	-	-	B	B
	松久小学校 物置	29	B	B	B	B	B	-	-	A	A
	松久小学校 物置	47	C	C	C	C	B	-	-	B	B
	松久小学校 ガス庫	48	B	B	B	A	B	-	-	A	A
	松久小学校 プールポンプ室	51	B	B	B	B	B	-	-	B	B
	東児玉小学校 教室1	43	A	A	B	C	B	A	A	A	A
	東児玉小学校 教室2	41	A	A	B	B	B	B	C	B	A
	東児玉小学校 体育館	46	A	A	B	C	C	A	A	B	A
	東児玉小学校 給食室	41	B	B	B	C	B	A	A	A	A
	東児玉小学校 物置（宿直室）	33	C	C	C	B	B	-	-	A	B
	東児玉小学校 ガス庫1	43	D	D	D	D	D	-	-	B	B
	東児玉小学校 ガス庫2	43	B	B	B	B	B	-	-	B	B
	東児玉小学校 凝化槽ポンプ室	43	D	C	C	D	D	A	-	B	B
	東児玉小学校 ポンプ室	43	B	C	C	C	C	-	-	B	B
	東児玉小学校 オイルギアポンプ室	43	B	B	B	B	B	-	-	B	B
	東児玉小学校 鳥小屋	30	B	B	B	A	B	-	-	A	A
	東児玉小学校 更衣室	46	D	C	D	D	D	-	-	B	B
	東児玉小学校 体育器具庫	26	D	B	B	B	B	-	-	B	B
	東児玉小学校 プールポンプ室	52	B	B	B	B	B	-	-	B	B
	東児玉小学校 屋外トイレ	52	B	B	B	B	B	-	A	B	B
	東児玉小学校 物置（中庭）	43	B	B	B	B	B	-	-	A	A

設備のない棟は「-」を表示しています。

表2-6 劣化度評価結果一覧（その2）

大分類	名称 棟名	経過年数	1. 建築部位					2. 電気	3. 機械	4. 建物劣化度	5. 構造・基礎の劣化度
			1-1屋根	1-2外壁	1-3建具	1-4内部仕上げ	1-5内部その他				
学校教育系施設	大沢小学校 教室	38	A	A	B	B	B	B	B	A	A
	大沢小学校 体育館	48	B	D	B	B	B	A	A	B	B
	大沢小学校 給食室	38	C	B	C	C	C	A	A	A	B
	大沢小学校 物置（宿直室）	38	D	D	B	B	B	-	-	B	B
	大沢小学校 石灰小屋（ガス庫）	38	B	B	B	B	B	-	-	B	B
	大沢小学校 鳥小屋	30	B	B	B	A	B	-	-	B	A
	大沢小学校 物置	25	B	B	B	A	B	-	-	A	A
	大沢小学校 プール付属室	38	B	C	B	B	B	-	-	B	B
	大沢小学校 プールポンプ室	38	B	C	B	B	B	-	-	B	B
	大沢小学校 体育器具倉庫	38	B	B	B	B	B	-	-	B	B
	大沢小学校 便所	22	D	C	D	C	B	-	A	B	B
	美里中学校 教室1	9	A	A	B	A	A	A	A	A	A
	美里中学校 教室（多目的棟）	30	B	B	C	B	A	A	A	A	A
	美里中学校 教室2	30	B	C	B	B	B	A	A	A	B
保健・福祉施設	美里中学校 体育館	51	A	B	B	B	C	A	A	B	B
	美里中学校 給食室	9	A	B	A	A	A	A	A	A	A
	美里中学校 部室（南）	27	C	B	C	B	B	-	-	B	B
	美里中学校 体育器具室	31	C	B	B	B	B	D	-	B	B
	美里中学校 部室（東）	27	C	C	C	B	B	-	-	B	B
	美里中学校 便所	20	B	C	B	C	B	A	B	B	B
	美里中学校 部室（北）	48	C	D	D	D	D	-	-	C	B
	美里中学校 プールポンプ室	50	C	B	B	C	C	A	C	B	B
	美里中学校 連絡通路	9	B	B	A	A	A	A	-	A	A
	美里中学校 物置	8	A	A	A	A	A	-	-	A	A
	美里中学校 ポンプ室	52	B	B	B	B	B	A	A	B	B
保健・福祉施設	保健センター	33	A	A	C	C	C	A	A	A	A
	保健センター（増築）	17	B	B	B	B	B	B	B	A	A
行政系施設	役場庁舎 本庁舎	40	C	C	C	C	C	B	B	B	B
	旧農林商工課 旧農林商工課事務室	43	C	D	C	D	C	A	A	A	A
	消防団詰所 第1分団詰所	35	B	B	A	B	B	A	A	A	A
	消防団詰所 第2分団詰所	36	A	C	C	D	D	A	A	A	A
	消防団詰所 第3分団詰所	32	A	B	B	B	B	A	A	A	A
	消防団詰所 第4分団詰所	37	D	D	C	C	C	A	A	A	A
	消防団詰所 第5分団詰所	30	A	B	A	A	A	A	A	A	A
公園	遺跡の森総合公園 車庫	26	C	B	B	C	C	A	A	A	A
	遺跡の森総合公園 グランドステージ	31	B	A	A	A	A	A	A	A	A
	遺跡の森総合公園 グランドベンチ	31	A	B	B	C	A	-	-	A	A
	遺跡の森総合公園 アナウンス室	31	A	A	C	B	B	A	-	A	A
	遺跡の森総合公園 便所	26	B	B	B	B	B	B	B	A	A
	遺跡の森総合公園 便所	32	D	C	C	C	C	A	C	A	A
	遺跡の森総合公園 便所	25	B	B	C	C	C	A	C	A	A
	遺跡の森総合公園 シャワー棟	32	C	C	A	B	A	A	A	A	A
	遺跡の森総合公園 ゲートボール管理室	32	B	C	B	C	B	-	A	A	A
	身馴川公園 便所	23	A	C	A	A	C	A	A	A	A
	農村公園 便所	8	A	C	C	B	B	A	A	A	A

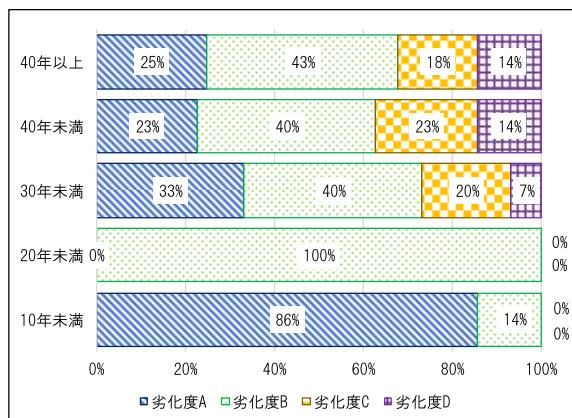
表2-6 劣化度評価結果一覧（その3）

大分類	名称 棟名	経過年数	1. 建築部位					2. 電気	3. 機械	4. 建物劣化度	5. 構造・基礎の劣化度
			1-1屋根	1-2外壁	1-3建具	1-4内部仕上げ	1-5内部その他				
その他	ストックヤード ストックヤード	32	C	C	C	B	B	-	-	A	A
	車庫（建設車両）建設車両車庫	36	A	C	A	B	B	-	-	A	A
	庁用車車庫 庁用町長車車庫	44	A	A	A	B	B	-	-	A	A
	庁用車車庫 庁用車車庫	39	C	A	A	B	A	-	-	B	A
	庁用車車庫 庁用車バス車庫	25	A	C	A	A	A	-	-	A	A

(4) 劣化状況の特性

劣化度評価を実施した86棟について、経過年数別の劣化度の傾向を把握します。分類は経過年数「40年以上（28棟）」「30年以上～40年未満（35棟）」「20年以上～30年未満（15棟）」「10年以上～20年未満（1棟）」「10年未満（7棟）」です。

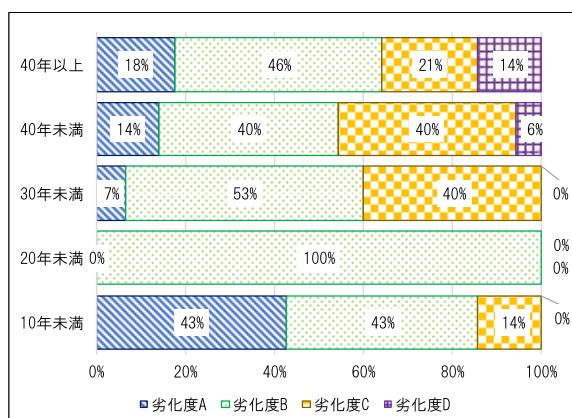
○屋根



屋根の劣化度を見ると、20年未満では劣化がない状況ですが、20年以上を経過すると一定の劣化が進んでいます。

30年以上～40年未満では、劣化度Dが14%で、劣化度Cと合わせると37%の施設で劣化が進行していることが読み取れます。

○外壁

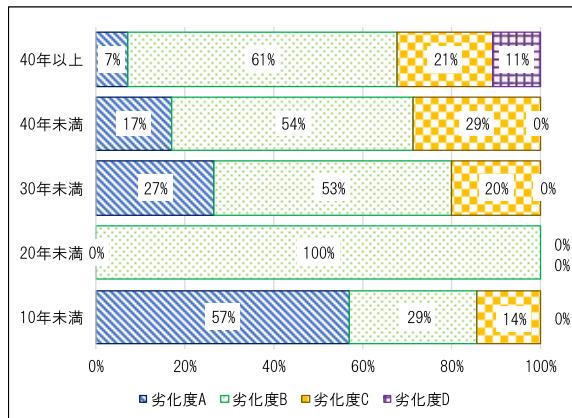


外壁の劣化度を見ると、10年以上～20年未満を除く各年度に劣化度Cが見られます

10年未満の棟でも劣化度Cが約14%となっています。

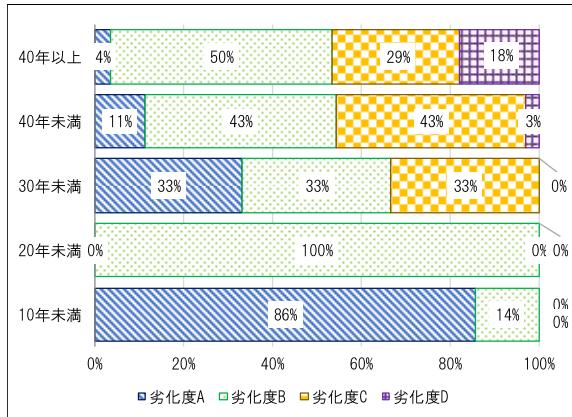
20年以上を経過すると劣化が著しくなり、20年以上～30年未満で劣化度Cが40%、30年以上～40年未満で劣化度C、D合せて46%となっています。

○建具



建具の劣化度をみると20年以上を経過すると、劣化度C、Dが2~3割となっており、築年が経つと劣化が進行していることが読み取れます。

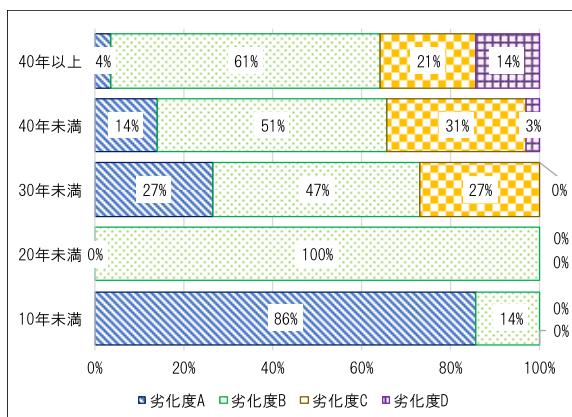
○内部仕上げ



天井、壁や床などの「内部仕上げ」については、20年以上を経過すると、劣化が進行していることが読み取れます。

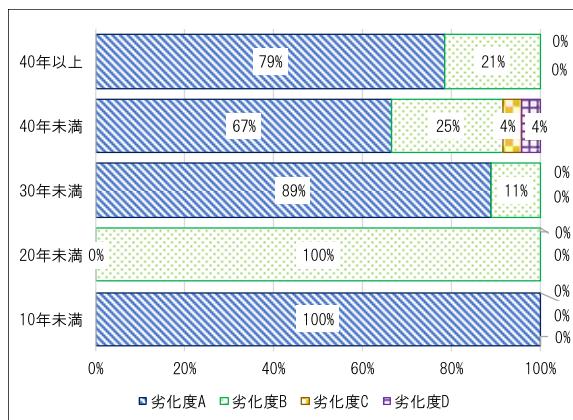
40年以上の棟では、劣化度Dが18%となっています

○内部その他



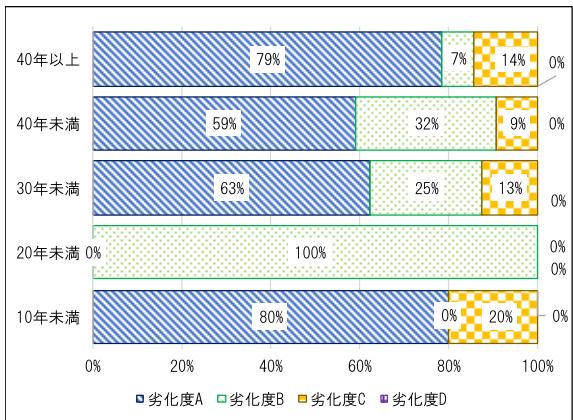
階段、防火シャッターなどの「内部その他」では、30年以上~40年未満の施設では、劣化度Cが31%、劣化度Dが3%となっています。また、40年以上の施設でも劣化度Cが21%、劣化度Dが14%となっており、20年以上を経過すると劣化が進む傾向がみられます。

○電気設備



電気設備については、10年以上～20年未満を除く年代で劣化度Aが多くなっています。

○機械設備



機械設備については、全体的には、概ね良好な状況とみられます。10年以上～20年未満を除く、各年代で劣化度Cが1割～2割程度みられます。

注) 10年以上～20年未満は1棟のため、100%となっています。(対象施設名称「保健センター(増築)」)

第3章 長寿命化の基本方針

3.1 長寿命化の基本方針

劣化状況調査や定期点検等の実施により、劣化状況を把握し、その結果を踏まえた修繕や改修の実施により予防保全に努めるとともに、施設の長寿命化を図り、長期的な視点に立った計画的な修繕・更新等を実施し、財政負担の平準化を図ります。また、補助金、交付税及び地方債などを積極的に活用し、町の負担を軽減します。

長寿命化の基本方針は、「美里町公共施設等総合管理計画」の方針を踏まえ、次のとおり定めます。

「美里町公共施設等総合管理計画」の方針

① 点検・診断及び安全性確保の実施方針

■ 「予防保全」の推進

- 今後も定期的な点検などを行い予防保全に努め、施設の長期利用を推進していきます。

■ 安全性の確保

- 今後利用する見込みのない施設については、周辺環境への影響を考慮し、解体、除去等を検討し、安全性の確保に努めます。
- 点検・診断の結果、劣化状況などから危険性が認められた施設については、施設の利用状況や優先度を踏まえ、更新、改修、解体等を検討します。

② 維持管理・修繕・更新等の実施方針

■ 適切な修繕の実施による機能の維持

- 部位部材等の修繕周期及び点検・診断結果を踏まえ、適切な時期に修繕を実施することにより機能の維持に努めます。

■ トータルコストの縮減

- 省エネ対応機器等の導入によりトータルコストの縮減に努めます。

■ 長期利用に配慮した施設整備

- インフラ資産は、費用対効果等を考慮し、施設の更新及び維持保全を計画的に実施していきます。
- 施設の整備や更新にあたっては、長期にわたって維持管理しやすい素材を使用するなど改善を図ります。

③ 耐震化及び長寿命化の実施方針

■ 耐震化の推進

- 耐震化未実施の施設は、取壊しも検討し、今後も継続して保有していく施設については、施設の老朽度も考慮のうえ、耐震化を推進します。
- 各施設の特性や緊急性、重要性を考慮のうえ、点検結果に基づき耐震化を推進していきます。

■長寿命化の推進

- ・今後も継続して保有していく施設のうち、建築後30年を経過している施設については、劣化度調査を実施するとともに、調査結果を踏まえて大規模改修時に、長寿命化を併せて実施することで長期的な維持管理コストの縮減を図ります。
- ・その他の施設についても、定期点検等の結果を踏まえて改修・更新を計画的に実施することにより、劣化の進行を遅らせ、施設の機能低下を長期間にわたって抑えていくことで、維持管理費用の抑制と平準化を目指します。
- ・インフラ資産についても、施設特性を考慮のうえ安全性や、経済性を踏まえつつ、損傷が軽微な段階で予防的な修繕を行うなどにより施設の長寿命化を図り、トータルコストの縮減や予算の平準化に努めます。

④ 統合や廃止の推進方針

■計画的な統合・廃止等の推進

- ・現在十分に利用されていない施設や将来的に利用が見込めない施設などについては、人口構成の変動や財政状況等を踏まえながら、客観的な視点から保有の必要性を検討します。
- ・施設の統合や廃止により生じる跡地は、売却等の処分により、将来的に維持していく施設の維持管理・整備費用のための財源確保として活用を図ります。

長寿命化の基本方針

《基本方針1》公共施設の快適性と安全性の確保

- ・劣化状況調査マニュアルに基づき、施設管理者が自ら「劣化状況調査」を実施するとともに、専門家等による「法定点検」を実施し、公共施設の快適性と安全性の維持を図ります。
- ・調査結果や工事履歴等を一元的に管理し、維持管理の継続性を高めます。

《基本方針2》修繕費用の縮減と平準化

- ・計画的・効率的な修繕が実施できるように、点検・診断結果を踏まえた修繕費用の縮減を図ります。
- ・各年度の限られた予算内で優先すべき事業を精査し、部署間で調整し修繕費用の平準化を図ります。

《基本方針3》公共施設の長寿命化

- ・壊れてから直す「事後保全」の考え方から、定期的な点検等により、機能や性能の劣化を早期かつ的確に把握し、故障や事故を未然に防ぐ「予防保全」の考え方へ転換し、公共施設の長寿命化を図ります。

(1) 建物の保全の考え方

建物については、点検等により異常の有無や兆候を事前に把握・予測し、計画的に保全を実施する「予防保全」と、対症療法的な保全を実施する「事後保全」により、建物を管理することを基本とします。

長寿命化の費用対効果が高い建物については、予防保全を基本とし、長期利用を図ります。

既に劣化が著しい建物や、長寿命化の費用対効果が低い小規模の建物（車庫、倉庫など）については、事後保全を基本とし、耐用年数までの利用を図ります。

また、用途を廃止する施設であっても、建物自体の劣化が少なく、費用対効果が高いと考えられる場合は「用途変換（コンバージョン）」を検討し、有効活用を図ります。

表 3-1 建物の保全の考え方

保全の種類	対処方法	対象となる建物
予防保全	耐用年数等を考慮して、定期修繕・更新を原則とする。 (ロードマップ作成)	○延床面積 100 m ² 以上 ○鉄筋コンクリート造、鉄骨造
事後保全	劣化状況調査等により状態を把握し、適切な修繕等を早めに行う。劣化・機能停止等を発見次第、適宜、修繕・更新等を実施する。	○以下の劣化が著しいもの 建物劣化／構造・基礎の劣化／屋根／外壁 ○延床面積 100 m ² 未満 ○10年以内に耐用年数を迎える

建物は、使用年数の経過により部位・部材及び設備ごとに劣化や陳腐化が進行するとともに、バリアフリーや省エネルギーといった要求性能と現状の建物性能との差が生じるため、定期的な修繕の部分的な原状回復に加えて、全体的に原状回復、性能向上を図る大規模改修（長寿命化改修）※の実施を検討します。

※大規模改修（長寿命化改修）の必要性

建築後、概ね30年以上経過した建物については、バリアフリー化や省エネルギー化、防犯対策などの新たに要求される性能に差が生じます。

そのため、主要な部位・設備等ごとに定期的な周期での修繕・更新により、安全面の不具合の解消を図るとともに、必要に応じて社会状況の変化などに対応した性能や機能を付加する大規模改修や長寿命化改修が必要となる可能性があります。

(2) 目標使用年数の設定

建築物の耐用年数は、次表のとおり、各種法令等により異なっています。

表3-2 各種法令等による構造別の耐用年数 (単位:年)

記号	建物構造	1. 建築物の耐久計画	2. 建築工事標準仕様書	3. 減価償却	4. 学校施設財産処分	5. 公営住宅の耐用年数	6. 都市再開発法
SRC RC	鉄骨鉄筋コンクリート造 鉄筋コンクリート造	60	65	事務所用 50 学校用 47	H12年以前 60 H13年以降 47	耐火 70	事務所、図書館等 50 学校 47
S	鉄骨造(肉厚4mm超)			事務所用 38 学校用 34	H12年以前 40 H13年以降 34	準耐火 45	事務所、図書館等 38 学校 34
	鉄骨造(肉厚3mm超)			事務所用 30 学校用 27			
	鉄骨造(肉厚3mm以下)			事務所用 22 学校用 19			
W	木造			事務所用 24 学校用 22	H12年以前 24 H13年以降 22	30	

1. 建築物の耐久計画：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会 1988年10月）
2. 建築工事標準仕様書：建築工事標準仕様書（日本建築学会 JASS5鉄筋コンクリート工事 2009年）
3. 減価償却：減価償却資産の耐用年数に関する省令（財務省 改正：平成30年3月31日）
4. 学校施設財産処分：学校施設の老朽化対策について～学校施設における長寿命化の推進～（文部科学省 平成25年3月）
5. 公営住宅法：公営住宅法施行令（政令第319号 改正：平成29年12月22日）
6. 都市再開発法：都市再開発法施行令（政令第183号 改正：平成30年6月6日）

本計画では、「建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会 1988年10月）」等を参考に、次表「目標使用年数」を設定し、長期利用に努めます。

ただし、建物の劣化状況、費用対効果等によっては、目標使用年数まで使用せずに、建替え等を実施できるものとします。

表3-3 標準耐用年数と目標使用年数

建物の構造	標準耐用年数	目標使用年数
鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造） 鉄筋コンクリート造（RC造）	60年	80年
鉄骨造（S造）	45年	65年
木造（W造）、その他	30年	50年

3.2 修繕等の方針

① 部位別の修繕・更新周期の方針

標準耐用年数及び目標使用年数まで施設を安全で快適に使用するためには、部位・部材及び設備ごとの劣化に対処するとともに、社会的な要求レベルの変化に対応して建物性能を向上させが必要です。

部位・設備等の仕様内容によって修繕・更新周期は異なりますが、標準的な概ねの修繕・更新周期は次表のとおりです。

表3-4 部位別の修繕・更新周期

主要部位・設備等	老朽化の影響等	主な改修工事の周期
屋根・屋上	●劣化が進めば、防水効果が薄れて漏水を引き起こし、構造躯体の劣化や室内の損傷につながります。	防水工事 【概ねの周期】 修繕：5～10年 更新：20～30年
外壁	●仕上げ材のひび割れや建具周りのシーリングの劣化等により漏水が発生し、構造躯体の劣化や室内及び設備機器の損傷を招きます。 ●外壁のタイルやモルタル等の落下により、人的被害が発生する危険性も高まります。	外壁塗装、コンクリート補修、シーリング等 【概ねの周期】 修繕：5～10年 更新：15～30年
電気設備	●受変電設備、常用発電設備は、電気事業法により、工事、維持及び運用に関する保安を確保するための保安規程を定めて、遵守する義務があります。 ●非常用自家発電設備や蓄電池設備は、消防法により、外観・機能・作動点検や、総合点検を実施することが義務付けられているとともに、保安規程に基づく点検が義務付けられています。 ●警報設備は、災害時の安全を確保するために、消防法により、機器点検と総合点検が義務付けられています。 ●エレベーター設備は、建築基準法により、定期点検の義務付け、さらに同法に基づき、専門家による保守点検を実施する必要があります。	受変電、発電・静止形電源、通信・情報等 【概ねの周期】 修繕：5～15年 更新：20～30年
機械設備	●空調設備は、フロン排出抑制法に基づき、業務用の空調設備で冷媒にフロン類を使用している機器は、全ての機器について簡易点検の実施、一定規模以上の機器について定期点検の実施が義務付けられています。 ●給排水設備は、建築物衛生法に基づき、貯水槽の清掃や、排水設備の清掃を実施することが義務付けられています。 ●消火設備は、消防法により、機器点検と総合点検が義務付けられています。	空調、換気、給排水衛生、消火等 【概ねの周期】 修繕：4～15年 更新：20～30年

資料：平成17年版建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人建築保全センター）

：L C評価、長期修繕計画、診断、資産評価、E Rのための建物のライフサイクルマネジメント

用データ集（平成26年3月 公益社団法人ロングライフビル推進協会）

② 修繕等の時期の対応方針

部位・部材及び設備の修繕・更新時期が重複する建築後30年前後、遅くとも45年までの時期において、機能性向上を含めた大規模改修や省エネ改修工事等の実施を検討します。改修等の時期の対応方針は、建築後の経過年数に応じて次表のとおり設定します。

表3－5 修繕等の時期の対応方針

建築経過年数	対応方針
20年未満	劣化状況調査等を定期的に実施し、劣化状況を踏まえ標準的な修繕・更新周期で目標使用年数まで使用。
20～30年未満	周期どおり修繕・更新等を実施。実施後の15～20年後に構造躯体の詳細調査を実施し、長寿命化改修を検討。
30年以上	劣化状況調査等の結果を受けて、改修の優先順位を決め、長寿命化を図る施設については、長寿命化改修を実施。

3.3 施設整備の水準

改修等の実施にあたっては、構造躯体の経年劣化の回復やライフラインの更新等といった建物の建設当初の水準に戻すだけでなく、耐久性に優れた仕上げ材への取替えや耐震対策、防災機能の強化、省エネルギー化、バリアフリー化等の性能の向上といった現在の社会的ニーズに対応するため、基本的性能の向上も図ります。

公共施設に求められる基本的性能は、次表のとおりです。

表3－6 公共施設に求められる基本的性能

種類	概要
安全性	耐震性、防災性、機能維持性、防犯性
機能性	利便性、ユニバーサルデザイン、室内環境性、情報化対応性
経済性	耐用性、保全性
社会性	地域性、景観性
環境保全性	環境負荷低減性、周辺環境保全性

これから整備される公共施設については、企画段階からあらかじめ長期保全に必要な性能を備えた部位・部材及び設備を採用することとします。また、既存建物の改修等においては、適用可能な設計を選択して採用することとします。

長期保全の設計に関する重点事項及び部位・部材の標準水準は、次表のとおりです。

表 3－7 長期保全の重点事項

性能	内容
可変性	階高を高くするなど、将来の用途変更へ対応が可能なプランとします。
更新性	改修工事の際の工事費を抑制するため、構造躯体と設備を分離するなど、設備の更新が容易な構造とします。
耐久性	各部材について、ライフサイクルコストが最適でかつ耐久性の高いものを選択します。
メンテナンス性	清掃や点検、修繕等の維持管理業務を効率的に実施可能な設計とします。
省エネルギー性	自然エネルギーの活用、環境負荷の低減など、省エネルギー対応の設計とします。

表 3－8 部位・部材別標準水準

部位・部材	内容
構造体	構造躯体 耐用年数 80 年を想定したものを使用します。
	防水、外壁 防水性能が劣化し、漏水することで構造躯体が劣化するため、耐久性に優れた素材を使用します。
内装、設備	劣化にかかる改修、修繕や用途変更が容易に実施できるように可能な限り標準品・汎用品を使用します。
バリアフリー	エレベーター、スロープ、多目的トイレ等のバリアフリーに配慮した設備を設置します。
環境負荷の低減（省エネルギー対応）	太陽光発電、LED 照明、高断熱・高気密化等の省エネルギー化に対応した設備を設置します。

第4章 改修・更新等費用の見通し

4.1 算定条件

(1) 部位別の修繕・更新周期の設定

「平成17年版建物のライフサイクルコスト（一般財団法人建築保全センター）」の標準的な修繕・更新周期を参考にして、主要な部位・設備等の更新等周期を次表のとおり設定します。

修繕・更新周期は、建築年度を基準年としています。但し、大規模修繕を実施している部位・部材、設備については、大規模修繕を実施した年度を基準年として、周期を設定しながらいます。

表4-1 修繕・更新周期

		事務所モデル 周期（年）		学校モデル 周期（年）	
		修繕	更新	修繕	更新
建築部位	屋根・屋上	5	30	5	20
	外壁	5	15	8	15
	外部建具	5	30	5	40
電気設備	受変電	5	30	5	25
	通信・情報（防災を含む）	5	20	5	20
機械設備	空調	5	20	5	15
	換気	5	20	5	20
	給排水	5	30	5	30
	消火	10	30	10	30

資料：平成17年版建物のライフサイクルコスト（一般財団法人建築保全センター）

(2) 改修時期の設定

改修時期は、建物の構造、建築年を踏まえて、次表のとおり設定します。

表4-2 改修時期

建物の構造	改修時期	
	標準耐用年数	目標使用年数
鉄骨鉄筋コンクリート造	30年目	45年目
鉄筋コンクリート造	(大規模改修)	(長寿命化改修)
鉄骨造	25年目 (大規模改修)	35年目 (長寿命化改修)
木造、その他	15年目 (大規模改修)	25年目 (長寿命化改修)

(3) 修繕・更新、大規模改修・長寿命化改修、解体等費用の単価設定

- 修繕・更新の単価は、「平成17年版建物のライフサイクルコスト（一般財団法人建築保全センター）」を参考に設定します。
- 大規模改修の単価は、総務省試算ソフトの設定単価とします。
- 長寿命化改修の単価は、大規模改修単価の1割増しとします。
- ※詳細は、資料編「2. 単価の設定」に掲載しています。

(4) 建物の劣化を考慮した平準化の設定

① 長寿命化改修の優先度の設定

長寿命化改修の時期が集中している場合は、優先度に応じて改修の時期の先送りを設定します。優先度は、劣化度評価の総合評価の値の分散を踏まえ設定します。資料編「3. 長寿命化改修の優先度の設定」に総合評価の設定方法を掲載しています。

表4-3 優先度に応じた長寿命化改修の時期の設定

優先度	設定
高	経過年数に応じた周期で長寿命化改修を実施することを想定します。
中	3～5年間長寿命化改修を先送りすることを想定します。
低	5～10年間長寿命化改修を先送りすることを想定します。

② 部位別の修繕・更新周期

劣化度評価の結果を踏まえて、部位・設備等の修繕・更新の時期や長寿命化改修の時期を調整し、ライフサイクルコストの平準化を図ります。

劣化度評価の区分に応じた修繕・更新等の先送りや前倒しは、次表のとおり設定します。

表4-4 劣化度評価区分に応じた平準化の設定

評価区分	設定
A	修繕・更新時期を5年先送りします。
B	経過年数に応じた周期で修繕・更新を実施します。
C	劣化が進んでいるため、修繕・更新時期を3～5年前倒しします。
D	早急に対応する必要があるため、2年以内に修繕・更新を実施します。

4.2 改修・更新等費用の見通し

上記の条件のもと、①標準耐用年数まで維持した場合の改修・更新等費用、②目標使用年数まで維持した場合の改修・更新等費用は、次のとおりです。

① 標準耐用年数まで維持した場合の改修・更新等費用

35年間の改修・更新等費用の合計は、約141.8億円、1年間の平均は約4.1億円となります。

多くの建物が大規模改修の時期を経過しているため、直近で大規模改修の費用が大きな負担となることが予想されます。

令和12年(2030)以降からは、解体、改築費用が大きな負担となることが予想されます。

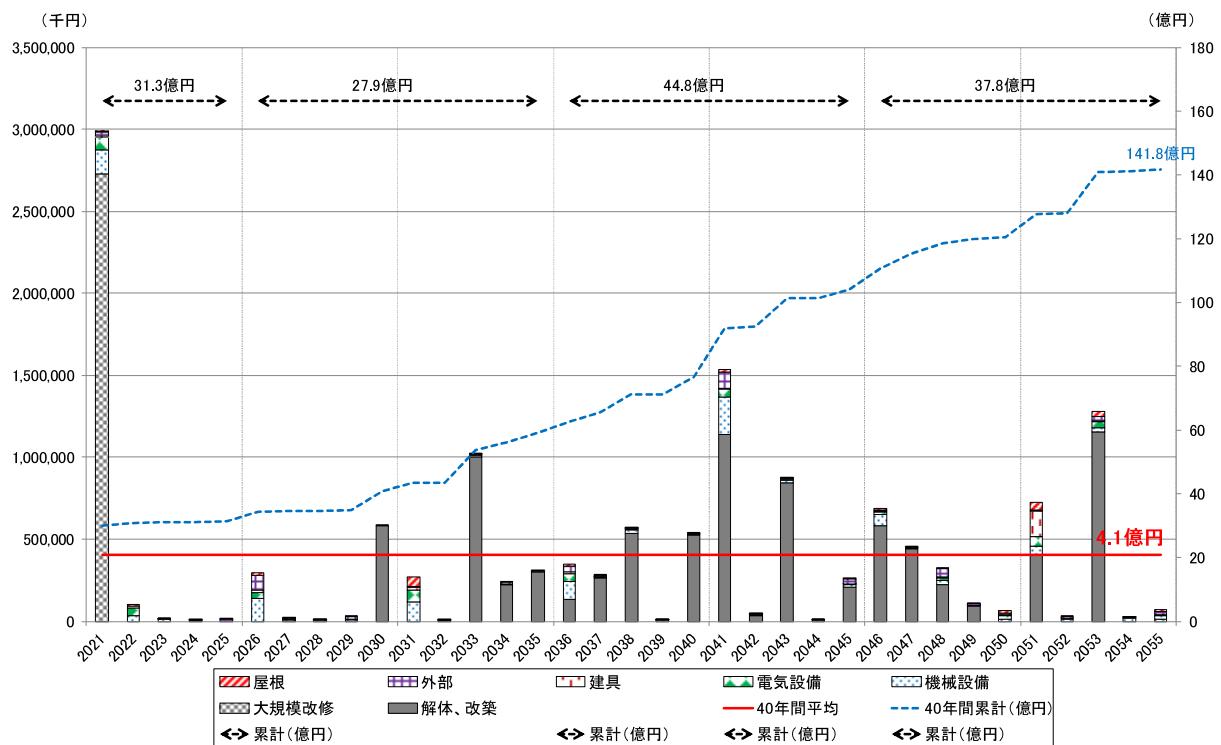


図4-1 標準耐用年数まで維持した場合の改修・更新等費用

② 目標使用年数まで維持した場合の改修・更新等費用

目標使用年数まで維持し、劣化状況を踏まえて長寿命化改修時期、部位別の修繕・更新時期を平準化して目標使用年数まで維持した場合の35年間の改修・更新等費用の合計は、約95.8億円、1年間の平均は約2.7億円となります。

今後10年間の長寿命化改修が平準化され、さらに目標使用年数まで長寿命化されることにより、標準耐用年数まで維持した場合に比べて、1年間の平均で約34%削減することが可能になります。

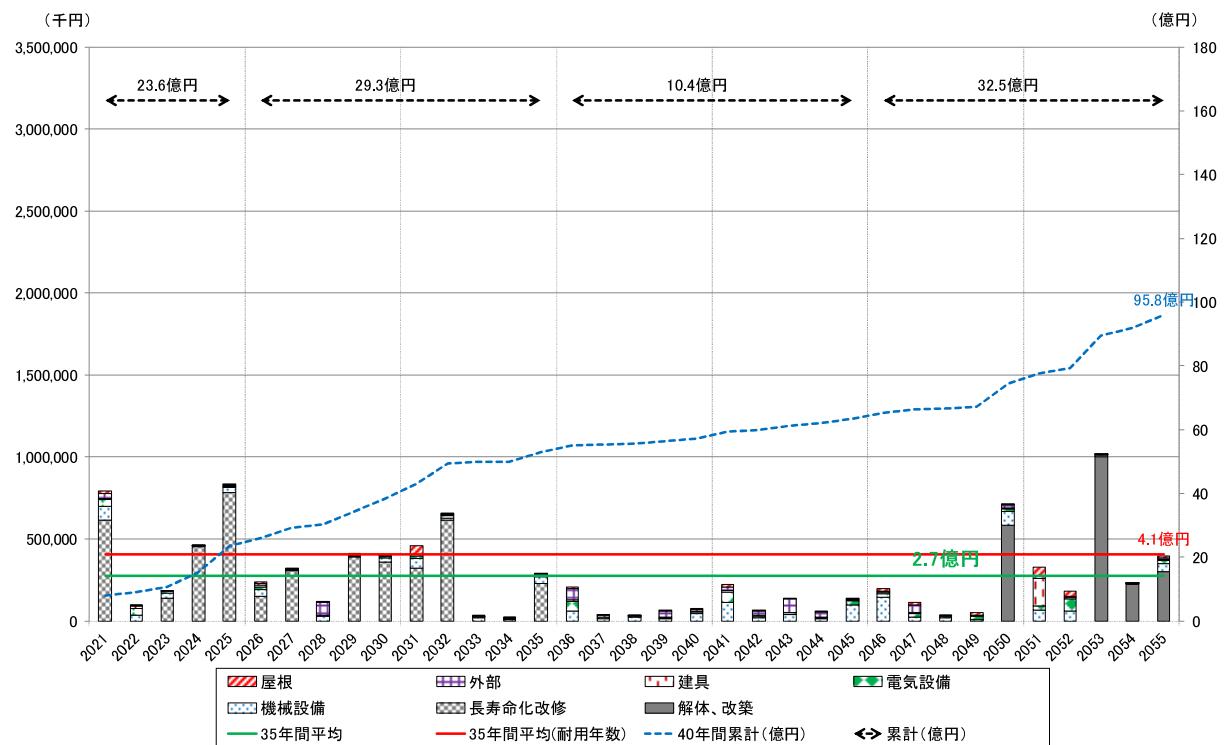


図4－2 目標使用年数まで維持した場合の改修・更新等費用

第5章 施設類型別長期保全計画

5.1 町民文化系施設

(1) 基本情報

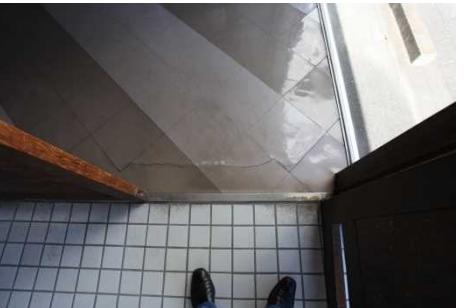
施設名	建物名	構 造	竣工年度 (年度)	延床面積 (m ²)	保全方法 施設配置
松久公民館	公民館	鉄骨造	1983	350.00	事後保全
東児玉公民館	公民館	鉄骨造	1985	400.00	事後保全
東児玉公民館	屋外トイレ	軽量鉄骨造	2015	9.90	事後保全
大沢公民館	公民館	鉄骨造	1990	333.47	予防保全
中央公民館	公民館	鉄筋コンクリート造	1986	1101.40	予防保全
遺跡の森館	遺跡の森館	鉄筋コンクリート造	1992	2889.80	予防保全
陶芸棟	陶芸棟	コンクリートブロック造	1997	34.08	事後保全
水殿瓦窯跡覆屋	水殿瓦窯跡	木造	1931	21.51	事後保全

(2) 劣化状況調査結果の概要

松久公民館（公民館）	
構造躯体の健全度	・築37年の鉄骨造で、構造的に大きな劣化は見られない。
部位の劣化状況	・室内のクロスが剥がれています箇所が随所にみられる。

松久公民館（公民館）の劣化状況		
写真		
建物名	公民館	公民館
状況	壁のクロスに剥離	壁のクロスに剥離
評価	C (広範囲に劣化)	C (広範囲に劣化)
写真		
建物名	公民館	
状況	照明に浮き	
評価	C (広範囲に劣化)	

東児玉公民館（公民館）	
構造躯体の健全度	・築35年の鉄骨造で、構造的に大きな劣化は見られない。
部位の劣化状況	・屋根の防水シートに劣化が見られる。 ・トップライト、トップライト廻りに劣化が見られる。 ・床のシートの劣化、ひび割れが見られる。

東児玉公民館（公民館）の劣化状況		
写真		
建物名	公民館	公民館
状況	屋根防水シートに劣化	トップライトに劣化
評価	D（早急に対応が必要）	C（広範囲に劣化）
写真		
建物名	公民館	公民館
状況	トップライト廻りに劣化	床にひび割れ
評価	C（広範囲に劣化）	C（広範囲に劣化）

東児玉公民館（屋外トイレ）	
構造躯体の健全度	・築5年の鉄骨造である。
部位の劣化状況	・劣化は見られない。

大沢公民館（公民館）	
構造躯体の健全度	<ul style="list-style-type: none"> 築30年の鉄骨造である。
部位の劣化状況	<ul style="list-style-type: none"> サッシのシール材の劣化が見られる。 天井材の劣化が見られる。

大沢公民館（公民館）の劣化状況		
写真		
建物名	公民館	公民館
状況	サッシのシール材に劣化	軒材に劣化
評価	B（部分的に劣化）	C（広範囲に劣化）
写真		
建物名	公民館	
状況	天井材に劣化	
評価	C（広範囲に劣化）	

中央公民館（公民館）	
構造躯体の健全度	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館は、築34年の鉄筋コンクリート造である。 構造的には、大きな劣化は見られない。
部位の劣化状況	<ul style="list-style-type: none"> 屋根のドレンの詰まり、目地が劣化している。 外壁の劣化が見られる。 床材の劣化が見られる。

中央公民館（公民館）の劣化状況		
写真		
建物名	公民館	公民館
状況	ドレンに土砂の詰まり	防水層の目地に劣化
評価	D (早急に対応が必要)	C (広範囲に劣化)
写真		
建物名	公民館	公民館
状況	白華（※）が氷柱状に発生	床に劣化
評価	C (広範囲に劣化)	C (広範囲に劣化)

※白華：コンクリートやモルタルの表面部分に白い生成物が浮き出る現象をいう。エフロレッセンスともい
う。

遺跡の森館（遺跡の森館）	
構造躯体の健全度	<ul style="list-style-type: none"> 築28年の鉄筋コンクリート造である。 構造的には、大きな劣化は見られない。
部位の劣化状況	<ul style="list-style-type: none"> 大きな劣化が見られない。

遺跡の森館（遺跡の森館）の劣化状況		
写真		
建物名	遺跡の森館	遺跡の森館
状況	天井にシミ	ドレン廻りにひび割れ
評価	B（部分的に劣化）	B（部分的に劣化）
写真		
建物名	遺跡の森館	遺跡の森館
状況	塗装の剥離	タイルの目地に劣化
評価	B（部分的に劣化）	B（部分的に劣化）

陶芸棟（陶芸棟）	
構造躯体の健全度	<ul style="list-style-type: none"> 築23年のコンクリートブロック造である。 構造的には、大きな劣化は見られない。
部位の劣化状況	<ul style="list-style-type: none"> 大きな劣化は見られない。

水殿瓦窯跡覆屋（水殿瓦窯跡）	
構造躯体の健全度	<ul style="list-style-type: none"> 常時無人の施設となっている。 外観、内装ともにある程度の状態を保っている。
部位の劣化状況	<ul style="list-style-type: none"> 大きな劣化は見られない。

(3) ロードマップ（予防保全）

<大沢公民館>

優先度：低

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
公民館												
部位別	屋根・屋上	B					修繕					
	外壁	C		修繕								
	外部建具	B					修繕					
	電気設備	B					修繕					
	機械設備	B					修繕					
長寿命化改修										改修		
解体、改築												

<中央公民館>

優先度：中

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
公民館												
部位別	屋根・屋上	D	修繕					修繕				
	外壁	C	更新					修繕				
	外部建具	B	修繕					修繕				
	電気設備	C		修繕					修繕			
	機械設備	C		修繕					修繕			
長寿命化改修												
解体、改築												

<遺跡の森館>

優先度：低

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
遺跡の森館												
部位別	屋根・屋上	B		更新					修繕			
	外壁	B	更新					修繕				
	外部建具	B		更新				修繕				
	電気設備	B	更新		更新			修繕		修繕		
	機械設備	B	更新	更新				修繕	修繕			
長寿命化改修												
解体、改築												

(4) 改修・更新等費用の見通し

町民文化系施設の35年間のライフサイクルコストは、約11.3億円で、1年間の平均は約0.3億円となります。当初5年間のライフサイクルコストは、約2.2億円、1年間の平均は約0.44億円となり、令和3年（2021）、令和4年（2022）では、屋根等の建築部位・電気設備、機械設備の修繕や更新が集中するため多額の費用が見込まれます。

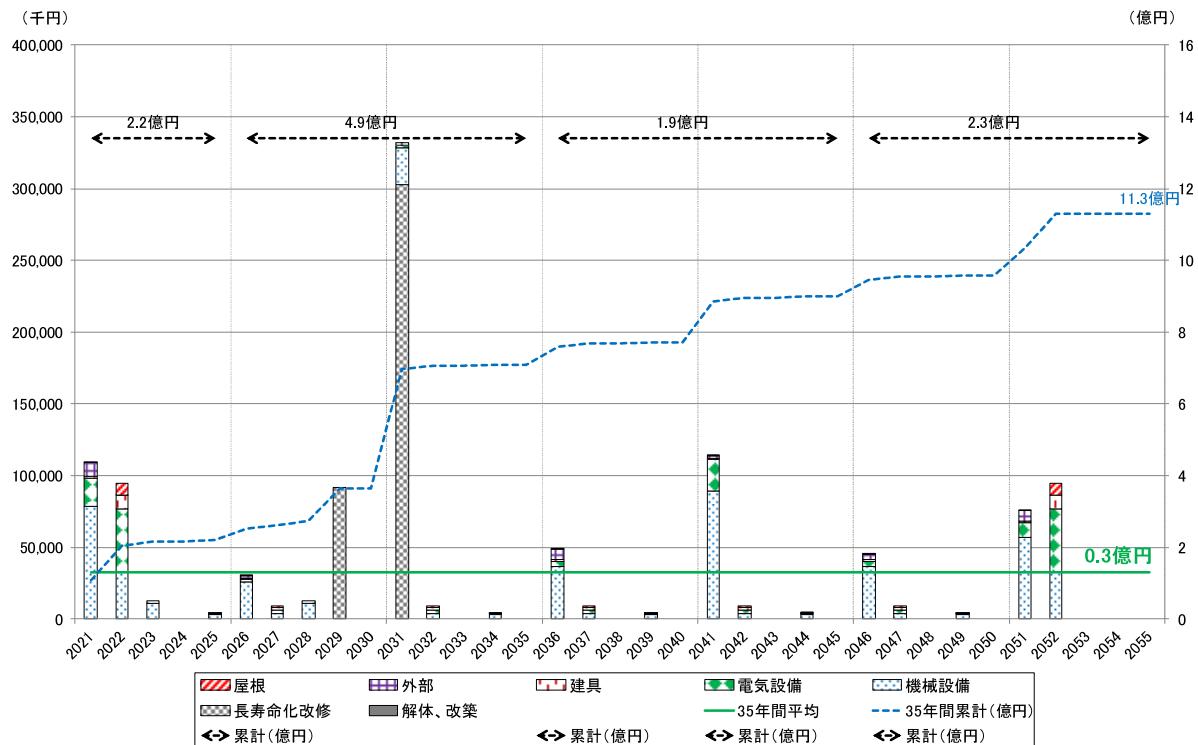


図4－3 町民文化系施設の目標使用年数まで維持した場合の改修・更新等費用

5.2 社会教育系施設

(1) 基本情報

施設名	建物名	構 造	竣工年度 (年度)	延床面積 (m ²)	保全方法 施設配置
図書館	図書館	鉄骨造	1999	524.28	予防保全

(2) 劣化状況調査結果の概要

図書館（図書館）	
構造躯体の健全度	<ul style="list-style-type: none"> 築21年の鉄骨造である。 構造的には、特に異常は見られない。
部位の劣化状況	<ul style="list-style-type: none"> 雨樋に劣化が見られる。

図書館（図書館）の劣化状況		
写真		
建物名	図書館	
状況	雨樋に劣化	
評価	B (部分的に劣化)	

(3) ロードマップ（予防保全）

<図書館>

優先度：低

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
図書館												
部位別	屋根・屋上	A							修繕			
	外壁	B										修繕
	外部建具	A							修繕			
	電気設備	A			更新				修繕	修繕		
	機械設備	A			更新				修繕	修繕		
長寿命化改修												
解体、改築												

(4) 改修・更新等費用の見通し

社会教育系施設の35年間のライフサイクルコストは、約0.9億円で、1年間の平均は約260万円となります。当初5年間のライフサイクルコストは、約0.2億円、1年間の平均は約400万円となり、令和5年（2023）に、電気設備、機械設備の修繕や更新が予定されるため費用の増加が見込まれます。

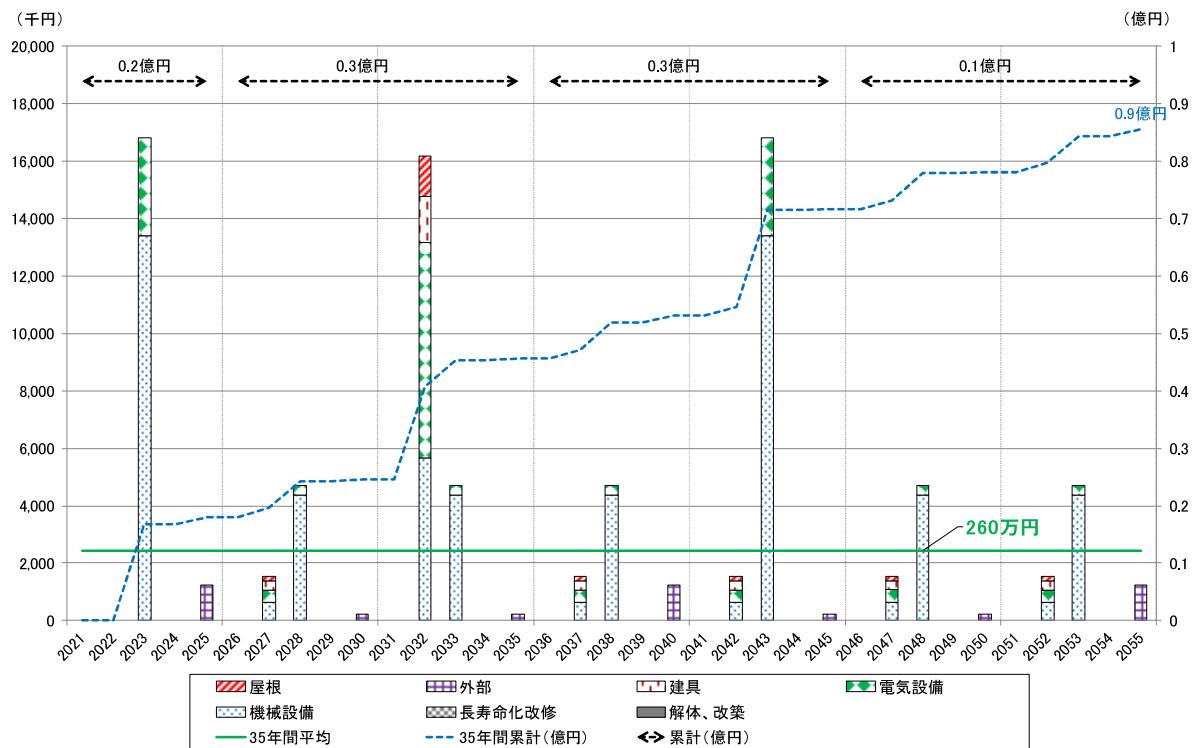


図4－4 社会教育系施設の目標使用年数まで維持した場合の改修・更新等費用

5.3 スポーツ・レクリエーション系施設

(1) 基本情報

施設名	建物名	構造	竣工年度 (年度)	延床面積 (m ²)	保全方法 施設配置
町民体育館	町民体育館	鉄筋コンクリート造	1985	1620.15	予防保全
町民武道館	町民武道館	鉄骨造	1988	622.86	予防保全
駅前情報館	駅前情報館	鉄骨造	2011	37.20	事後保全

(2) 劣化状況調査結果の概要

町民体育館（町民体育館）	
構造躯体の健全度	<ul style="list-style-type: none"> 築35年の鉄筋コンクリート造である。 構造的には、特に異常は見られない。
部位の劣化状況	<ul style="list-style-type: none"> 内部、建具に経年劣化が見られる。

町民体育館（町民体育館）の劣化状況		
写真		
建物名	町民体育館	町民体育館
状況	天井にシミ	トイレの仕切りに劣化
評価	C (広範囲に劣化)	C (広範囲に劣化)
写真		
建物名	町民体育館	町民体育館
状況	縦樋の固定金具に劣化	建具の目地に劣化
評価	C (広範囲に劣化)	C (広範囲に劣化)

町民武道館（町民武道館）	
構造躯体の健全度	<ul style="list-style-type: none"> 築32年の鉄骨造である。 構造的には、特に異常は見られない。
部位の劣化状況	<ul style="list-style-type: none"> 雨漏り跡、軒下の劣化が目立つ。

町民武道館（町民武道館）の劣化状況		
写真		
建物名	町民武道館	町民武道館
状況	天井に劣化	トイレの配管に劣化
評価	C (広範囲に劣化)	B (部分的に劣化)
写真		
建物名	町民武道館	町民武道館
状況	トイレの仕切りに劣化	軒下に劣化、一部は浮き
評価	C (広範囲に劣化)	B (部分的に劣化)

駅前情報館（駅前情報館）	
構造躯体の健全度	<ul style="list-style-type: none"> 築9年の鉄骨造である。 基礎コンクリートにひび割れが見られる。
部位の劣化状況	<ul style="list-style-type: none"> 空調の目地が目詰まりしている。

駅前情報館（駅前情報館）の劣化状況		
写真		
建物名	駅前情報館	
状況	空調に目詰まり	
評価	C (広範囲に劣化)	

(3) ロードマップ（予防保全）

<町民体育館>

優先度：低

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
町民体育館												
部位別	屋根・屋上外壁	C C	更新					修繕				
	外部建具	B						修繕				
	電気設備	B						修繕				
	機械設備	B						修繕				
	長寿命化改修											改修
解体、改築												

<町民武道館>

優先度：低

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
町営武道館												
部位別	屋根・屋上外壁	C B									修繕	
	外部建具	B									修繕	
	電気設備	B									修繕	
	機械設備	B									修繕	
	長寿命化改修				改修							
解体、改築												

(4) 改修・更新等費用の見通し

スポーツ・レクリエーション系施設の35年間のライフサイクルコストは、約9.5億円で、1年間の平均は約0.3億円となります。当初5年間のライフサイクルコストは、約1.6億円、1年間の平均は約0.32億円となり、令和5年（2023）では町民武道館の長寿命化改修が予定されるため費用の増加が見込まれます。

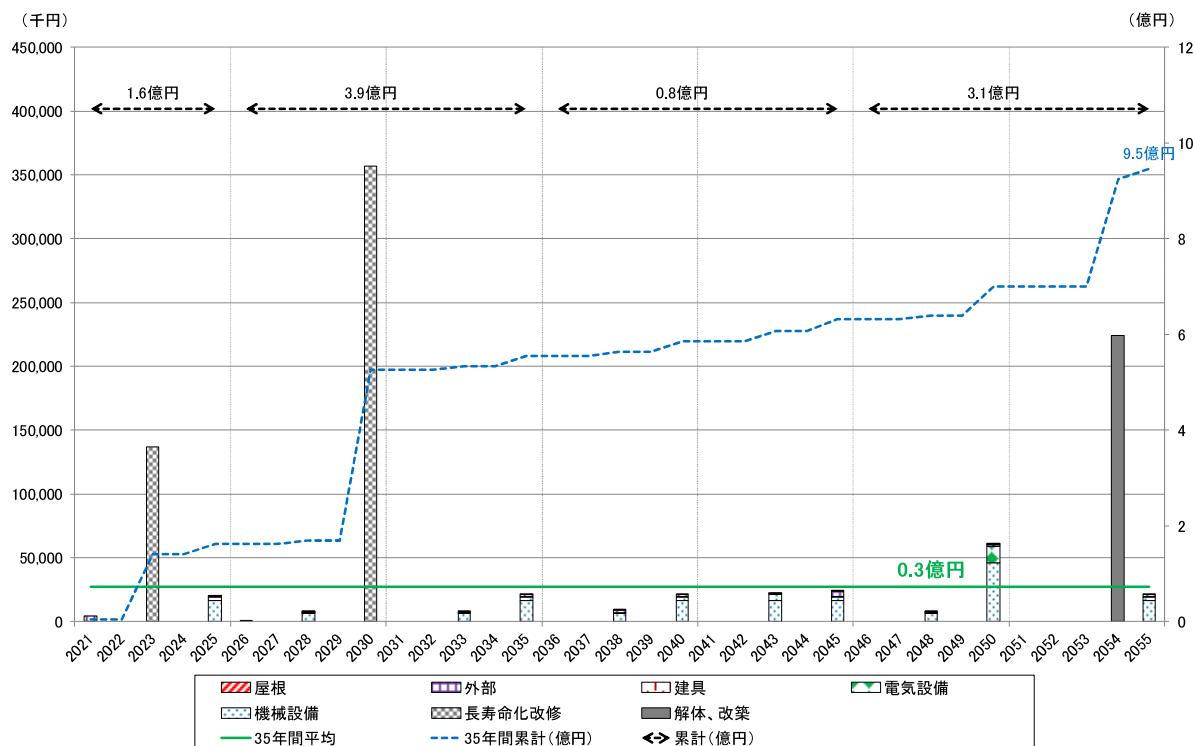


図4－5 スポーツ・レクリエーション系施設の目標使用年数まで維持した場合の改修・更新等費用

5.4 産業系施設

就業改善センターについては、取壊しを検討中のため、長期保全計画はありません。

5.5 学校教育系施設

(1) 基本情報

① 小学校

施設名	建物名	構造	竣工年度 (年度)	延床面積 (m ²)	保全方法 施設配置
松久小学校	教室	鉄筋コンクリート造	1972	2430.02	予防保全
	体育館	鉄筋コンクリート造	1976	802.88	予防保全
	給食室	鉄筋コンクリート造	1982	109.80	予防保全
	プール施設	コンクリートブロック造	1969	43.12	事後保全
	物置	軽量鉄骨造	1991	20.66	事後保全
	物置	コンクリートブロック造	1973	108.00	事後保全
	ガス庫	軽量鉄骨造	1972	4.40	事後保全
	プールポンプ室	コンクリートブロック造	1969	9.14	事後保全
	教室1	鉄筋コンクリート造	1977	1631.90	予防保全
	教室2	鉄筋コンクリート造	1979	1456.54	予防保全
東児玉小学校	体育館	鉄筋コンクリート造	1974	912.26	予防保全
	給食室	鉄筋コンクリート造	1979	139.50	予防保全
	物置（宿直室）	木造	1987	52.99	事後保全
	ガス庫1	コンクリートブロック造	1977	7.92	事後保全
	ガス庫2	コンクリートブロック造	1977	2.31	事後保全
	浄化槽ポンプ室	コンクリートブロック造	1977	7.68	事後保全
	ポンプ室	コンクリートブロック造	1977	15.54	事後保全
	オイルギアポンプ室	コンクリートブロック造	1977	2.55	事後保全
	鳥小屋	木造	1990	15.00	事後保全
	更衣室	軽量鉄骨造	1974	33.60	事後保全
大沢小学校	体育器具庫	コンクリートブロック造	1994	85.00	事後保全
	プールポンプ室	コンクリートブロック造	1968	9.30	事後保全
	屋外トイレ	コンクリートブロック造	1968	7.21	事後保全
	物置（中庭）	軽量鉄骨造	1977	11.42	事後保全
	教室	鉄筋コンクリート造	1982	2458.75	予防保全
	体育館	鉄筋コンクリート造	1972	608.22	予防保全
	給食室	鉄筋コンクリート造	1982	108.54	予防保全
	物置（宿直室）	木造	1982	48.85	事後保全
	石灰小屋（ガス庫）	コンクリートブロック造	1982	4.00	事後保全
	鳥小屋	木造	1990	4.32	事後保全

注) 東児玉小学校は教室が2棟あるため、区分けのため建物名を教室1、教室2とした。

東児玉小学校はガス庫が2棟あるため、区分けのため建物名をガス庫1、ガス庫2とした。

② 中学校

施設名	建物名	構 造	竣工年度 (年度)	延床面積 (m ²)	保全方法 施設配置
美里中学校	教室 1	鉄筋コンクリート造	2011	5401.40	予防保全
	教室 (多目的棟)	鉄筋コンクリート造	1990	936.78	予防保全
	教室 2	鉄筋コンクリート造	1990	278.10	予防保全
	体育館	鉄筋コンクリート造	1969	1774.20	予防保全
	給食室	鉄骨造	2011	404.98	予防保全
	部室 (南)	コンクリートブロック造	1993	38.88	事後保全
	体育器具室	コンクリートブロック造	1989	28.46	事後保全
	部室 (東)	コンクリートブロック造	1993	38.88	事後保全
	便所	鉄筋コンクリート造	2000	37.56	事後保全
	部室 (北)	コンクリートブロック造	1972	58.32	事後保全
	プールポンプ室	コンクリートブロック造	1970	12.88	事後保全
	連絡通路	鉄骨造	2011	79.64	事後保全
	物置	鉄骨造	2012	26.37	事後保全
	ポンプ室	コンクリートブロック造	1968	13.30	事後保全

注) 美里中学校は教室が2棟あるため、区分けのため教室1、教室2とした。

(2) 劣化状況調査結果の概要

各学校の教室、体育館及び給食室については「美里町学校教育系施設編」に掲載しています。

① 小学校

松久小学校 (プール施設)	
構造躯体の健全度	・プール施設は築51年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・経年劣化が見られる。

松久小学校 (プール施設) の劣化状況		
写真		
建物名	プール施設	
状況	軒下の塗装に剥離	
評価	D (早急に対応が必要)	

松久小学校（物置）	
構造躯体の健全度	・物置は築29年経過した軽量鉄骨造である。
部位の劣化状況	・ブロック等に修繕跡が見られる。

松久小学校（物置）	
構造躯体の健全度	・物置は築47年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・経年劣化が見られる。

松久小学校（ガス庫）	
構造躯体の健全度	・ガス庫は築48年経過した軽量鉄骨造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

松久小学校（プールポンプ室）	
構造躯体の健全度	・プールポンプ室は築51年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

東児玉小学校（物置（宿直室））	
構造躯体の健全度	・物置（宿直室）は築33年経過した木造である。
部位の劣化状況	・軒や建具の枠等に破損が見られる。

東児玉小学校（ガス庫1）	
構造躯体の健全度	・ガス庫は築43年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・屋根が変形している。

東児玉小学校（ガス庫1）の劣化状況		
写真	概要	評価
	ガス庫 屋根が変形	
建物名	ガス庫	
状況	屋根が変形	
評価	D（早急に対応が必要）	

東児玉小学校（ガス庫2）	
構造躯体の健全度	・ガス庫は築43年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

東児玉小学校（浄化槽ポンプ室）	
構造躯体の健全度	・浄化槽ポンプ室は築43年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・軒下のコンクリートが爆裂して、鉄筋が露出しており、早急に対応する必要がある。

東児玉小学校（浄化槽ポンプ室）の劣化状況		
写真		
建物名	浄化槽ポンプ室	
状況	軒下の鉄筋が露出	
評価	D（早急に対応が必要）	

東児玉小学校（ポンプ室）	
構造躯体の健全度	・ポンプ室は築43年のコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・土間コンクリートにひび割れが見られる。

東児玉小学校（オイルギアポンプ室）	
構造躯体の健全度	・オイルギアポンプ室は築43年のコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

東児玉小学校（鳥小屋）	
構造躯体の健全度	・鳥小屋は築30年経過した木造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

東児玉小学校（更衣室）	
構造躯体の健全度	・更衣室は築46年経過した軽量鉄骨造である。
部位の劣化状況	・屋根の仕上げ材が破損している。 ・内部仕上げ材が剥落している。

東児玉小学校（更衣室）の劣化状況		
写真		
建物名	更衣室	更衣室
状況	屋根の仕上げ材が破損	内部仕上げ材が剥落
評価	D（早急に対応が必要）	D（早急に対応が必要）

東児玉小学校（体育器具庫）	
構造躯体の健全度	・体育器具庫は築26年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・屋根に劣化が見られる。

東児玉小学校（体育器具庫）の劣化状況		
写真		
建物名	体育器具庫	
状況	屋根材に劣化	
評価	D（早急に対応が必要）	

東児玉小学校（プールポンプ室）	
構造躯体の健全度	・プールポンプ室は築52年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

東児玉小学校（屋外トイレ）	
構造躯体の健全度	・屋外トイレは築52年のコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・土間コンクリートに亀裂が見られる。

東児玉小学校（物置（中庭））	
構造躯体の健全度	・物置（中庭）は築43年経過した軽量鉄骨造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

大沢小学校（物置（宿直室））	
構造躯体の健全度	・築38年経過した木造である。
部位の劣化状況	・軒下の建材が剥がれ落ちている。 ・壁の建材が歪んで、隙間が空いている。

大沢小学校（物置（宿直室））の劣化状況		
写真		
建物名	物置（宿直室）	物置（宿直室）
状況	軒下の建材の剥離	壁の建材の歪みによる隙間
評価	D（早急に対応が必要）	D（早急に対応が必要）

大沢小学校（石炭小屋（ガス庫））	
構造躯体の健全度	・石炭小屋（ガス庫）は築38年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

大沢小学校（鳥小屋）	
構造躯体の健全度	・鳥小屋は築30年経過した木造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

大沢小学校（物置）	
構造躯体の健全度	・物置は築25年経過した軽量鉄骨造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

大沢小学校（プール付属室）	
構造躯体の健全度	・プール付属室は築38年経過した鉄骨造である。
部位の劣化状況	・外壁の鉄骨の塗装が剥がれ落ちている。

大沢小学校（プールポンプ室）	
構造躯体の健全度	・プールポンプ室は築38年経過した鉄骨造である。
部位の劣化状況	・外壁の鉄骨の塗装が剥がれ落ちている。

大沢小学校（体育器具倉庫）	
構造躯体の健全度	・体育器具倉庫は築38年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・外壁にひび割れが見られる。

大沢小学校（便所）	
構造躯体の健全度	・便所は築22年経過した鉄筋コンクリート造である。
部位の劣化状況	・雨漏りが見られ、詳細調査が必要である。

大沢小学校（便所）の劣化状況		
写真		
建物名	便所	便所
状況	雨漏り等による仕上げ材の剥落	窓枠に劣化
評価	D（早急に対応が必要）	D（早急に対応が必要）

② 中学校

美里中学校（部室（南））	
構造躯体の健全度	・部室（南）は築27年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・鉄部や建具の劣化が進んでいる。

美里中学校（体育器具室）	
構造躯体の健全度	・体育器具室は築31年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・電気のコンセントが破損している。 ・屋根材の劣化、屋根の骨材がサビついている。

美里中学校（体育器具室）の劣化状況		
写真		
建物名	体育器具室	
状況	電気のコンセントが破損	
評価	D（早急に対応が必要）	

美里中学校（部室（東））	
構造躯体の健全度	・部室（東）は築27年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・豎樋周辺の屋根に雨水があふれた跡が見られることから、樋が詰まっている可能性がある。

美里中学校（部室（東））の劣化状況		
写真		
建物名	部室（東）	
状況	豎樋周辺の屋根に雨水があふれた跡	
評価	C（広範囲に劣化）	

美里中学校（便所）	
構造躯体の健全度	・便所は築20年経過した鉄筋コンクリート造である。
部位の劣化状況	・外壁全体でシーリングの劣化が見られる。

美里中学校（部室（北））	
構造躯体の健全度	・部室（北）は築48年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・外壁、内部、建具が全体的に著しい損傷が見られる。

美里中学校（部室（北））の劣化状況		
写真		
建物名	部室（北）	部室（北）
状況	ブロックに欠損	ブロックを穴埋めしたモルタルに欠損
評価	D（早急に対応が必要）	D（早急に対応が必要）

美里中学校（プールポンプ室）	
構造躯体の健全度	・プールポンプ室は築50年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・外壁、内部にひび割れが見られる。 ・設備架台、建具がサビついている。

美里中学校（連絡通路）	
構造躯体の健全度	・連絡通路は築9年経過した鉄骨造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

美里中学校（物置）	
構造躯体の健全度	・物置は築8年経過した鉄骨造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

美里中学校（ポンプ室）	
構造躯体の健全度	・ポンプ室は築52年経過したコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・特段の劣化は見られない。

(3) ロードマップ（予防保全）

ロードマップの作成に当たり、大規模修繕の時期を加味した施設・棟は次のとおりです。大規模修繕の実施年度を基準年として周期を設定しています。

施設名	棟名	竣工年度	延床面積	構造区分	大規模改修実施年度				
					屋根	外壁	外部建具	電気	機械
松久小学校	教室	1972	2430.0	鉄筋コンクリート造	2011	2011	-	-	空：2012
松久小学校	体育館	1976	803.0	鉄筋コンクリート造	2010	2010	-	-	-
東児玉小学校	教室1	1977	1631.9	鉄筋コンクリート造	-	2009	-	-	空：2012
東児玉小学校	教室2	1979	1456.5	鉄筋コンクリート造	-	2009	-	-	空：2012
東児玉小学校	体育館	1974	912.3	鉄筋コンクリート造	2006	2006	-	-	-
大沢小学校	教室	1982	2458.8	鉄筋コンクリート造	-	-	-	-	空：2012 給水管：2014
大沢小学校	体育館	1972	608.2	鉄筋コンクリート造	2011	2011	-	-	-
美里中学校	体育館	1969	1774.2	鉄筋コンクリート造	2010	2010	-	-	-

空：空調設備

1998 年に実施した東児玉小学校 教室 1 の耐震補強は 20 年以上経過しているため加味しません。20 年を大規模改修の有効期限としたのは、20 年を経過すると、各部位ともに劣化が急速に進行するためです。

① 小学校

<松久小学校>

優先度： 中

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
教室												
部	屋根・屋上	B	修繕								修繕	
位	外壁	B										
別	外部建具	C									修繕	
電気設備	B										修繕	
機械設備	A										修繕	
長寿命化改修						改修						
解体、改築												

<松久小学校>

優先度： 低

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
体育館												
部	屋根・屋上	A										
位	外壁	A										
別	外部建具	B	修繕									
電気設備	A											
機械設備	A											
長寿命化改修								改修				
解体、改築												

<松久小学校>

優先度：低

建物名	劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
給食室											
部位別	屋根・屋上	B	修繕				修繕				
	外壁	C	更新								
	外部建具	B					修繕				
	電気設備	A									
	機械設備	B	更新/修繕				修繕				
長寿命化改修											
解体、改築											

<東児玉小学校>

優先度：低

建物名	劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
教室 1											
部位別	屋根・屋上	A									
	外壁	A									
	外部建具	B	修繕								
	電気設備	A									
	機械設備	A									
長寿命化改修								改修			
解体、改築											

<東児玉小学校>

優先度：低

建物名	劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
教室 2											
部位別	屋根・屋上	A									
	外壁	A									
	外部建具	B			修繕						
	電気設備	B			修繕						
	機械設備	C	修繕		修繕		修繕				
長寿命化改修										改修	
解体、改築											

<東児玉小学校>

優先度：低

建物名	劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
体育館											
部位別	屋根・屋上	A					修繕				
	外壁	A									
	外部建具	B					修繕				
	電気設備	A					修繕				
	機械設備	A					修繕				
長寿命化改修		改修									
解体、改築											

<東児玉小学校>

優先度：低

建物名	劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
給食室											
部位別	屋根・屋上	B				修繕					
	外壁	B									
	外部建具	B				修繕					
	電気設備	A					修繕				
	機械設備	A					修繕				
長寿命化改修										改修	
解体、改築											

<大沢小学校>

優先度：低

建物名	劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
教室											
部位別	屋根・屋上	A						修繕			
	外壁	A									
	外部建具	B		修繕					修繕		
	電気設備	B	更新	修繕				修繕	修繕		
	機械設備	B	更新	修繕		修繕		修繕	修繕	修繕	
長寿命化改修											
解体、改築											

<大沢小学校>

優先度：高

建物名	劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
体育館											
部位別	屋根・屋上	B						修繕			
	外壁	D								修繕	
	外部建具	B						修繕			
	電気設備	A						修繕			
	機械設備	A						修繕			
長寿命化改修		改修									
解体、改築											

<大沢小学校>

優先度：低

建物名	劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
給食室											
部位別	屋根・屋上	C	更新					修繕			
	外壁	B	更新								
	外部建具	C				修繕				修繕	
	電気設備	A					修繕				
	機械設備	A					修繕				
長寿命化改修											
解体、改築											

② 中学校

<美里中学校>

優先度：低

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
教室 1												
部 位 別	屋根・屋上	A					修繕					修繕
	外壁	A					更新					
	外部建具	B					修繕					修繕
	電気設備	A					修繕					修繕
	機械設備	A					更新/修繕					修繕
長寿命化改修												
解体、改築												

<美里中学校>

優先度：低

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
教室（多目的棟）												
部 位 別	屋根・屋上	B	更新					修繕				
	外壁	B	更新								修繕	
	外部建具	B					修繕					修繕
	電気設備	A					修繕					修繕
	機械設備	A					更新/修繕					修繕
長寿命化改修												
解体、改築												

<美里中学校>

優先度：低

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
教室 2												
部 位 別	屋根・屋上	B	修繕					修繕				
	外壁	C							更新			
	外部建具	B	修繕					修繕				
	電気設備	A						修繕				
	機械設備	A						修繕				
長寿命化改修												
解体、改築												

<美里中学校>

優先度：高

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
体育館												
部 位 別	屋根・屋上	A						修繕				
	外壁	B								修繕		
	外部建具	B						修繕				
	電気設備	A						修繕				
	機械設備	A						修繕				
長寿命化改修			改修									
解体、改築												

<美里中学校>

優先度：一

建物名	劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
給食室											
部位別	屋根・屋上	A	修繕					修繕			
	外壁	B						更新			
	外部建具	A	修繕					修繕			
	電気設備	A	修繕					修繕			
	機械設備	A	修繕					更新/修繕			
長寿命化改修											
解体、改築											

(4) 改修・更新等費用の見通し

学校教育系施設の35年間のライフサイクルコストは、約60.4億円で、1年間の平均は約1.7億円となります。当初5年間のライフサイクルコストは、約11.6億円、1年間の平均は約2.3億円となり、令和3年（2021）、令和6年（2024）では、屋根等の建築部位・電気設備の更新や長寿命化改修が集中し、費用の増加が見込まれます。

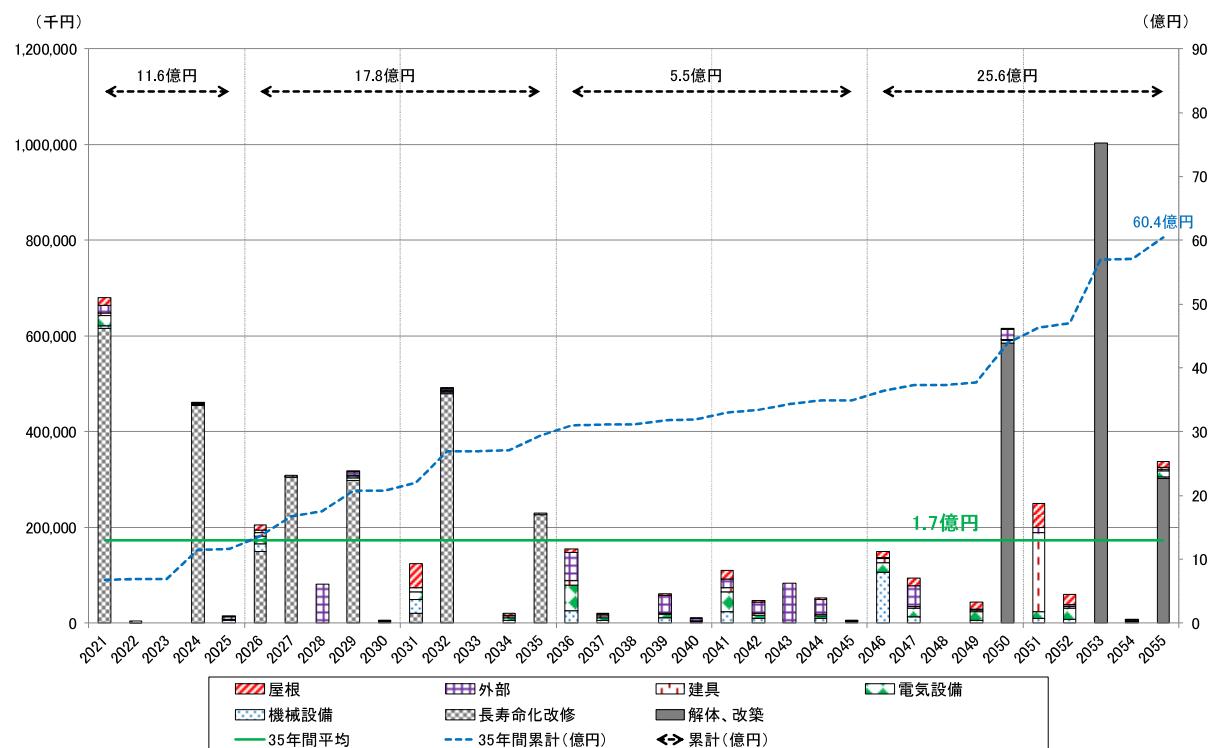


図4－6 学校教育系施設の目標使用年数まで維持した場合の改修・更新等費用

5.6 保健・福祉施設

(1) 基本情報

施設名	建物名	構造	竣工年度 (年度)	延床面積 (m ²)	保全方法 施設配置
保健センター	保健センター	鉄筋コンクリート造	1987	619.87	予防保全
	保健センター(増築)	鉄骨造	2003	250.95	予防保全

(2) 劣化状況調査結果の概要

保健センター（保健センター）	
構造躯体の健全度	<ul style="list-style-type: none">・保健センターは築33年の鉄筋コンクリート造である。・特段の劣化は見られない。
部位の劣化状況	<ul style="list-style-type: none">・天井のシミ、クロスの劣化が見られる。

保健センター（保健センター）の劣化状況		
写真		
建物名	保健センター	保健センター
状況	クロスに劣化	天井にシミ
評価	C (全体的に劣化)	C (全体的に劣化)

保健センター（保健センター増築）	
構造躯体の健全度	<ul style="list-style-type: none">・保健センターは築17年の鉄骨造である。・特段の劣化は見られない。
部位の劣化状況	<ul style="list-style-type: none">・特段の劣化は見られない。

(3) ロードマップ（予防保全）

<保健センター>

優先度：低

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
保健センター												
部位別	屋根・屋上	A					修繕					
	外壁	A					修繕					
	外部建具	C		修繕					修繕			
	電気設備	A					修繕					
	機械設備	A					修繕					
長寿命化改修												
解体、改築												

<保健センター>

優先度：低

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
保健センター（増築）												
部位別	屋根・屋上	B			修繕					修繕		
	外壁	B	更新					修繕				
	外部建具	B			修繕					修繕		
	電気設備	B			更新/修繕					修繕		
	機械設備	B			更新/修繕					修繕		
長寿命化改修												
解体、改築												

(4) 改修・更新等費用の見通し

保健・福祉施設の35年間のライフサイクルコストは、約2.4億円で、1年間の平均は約0.1億円となります。当初5年間のライフサイクルコストは、約0.2億円、1年間の平均は約400万円となります。

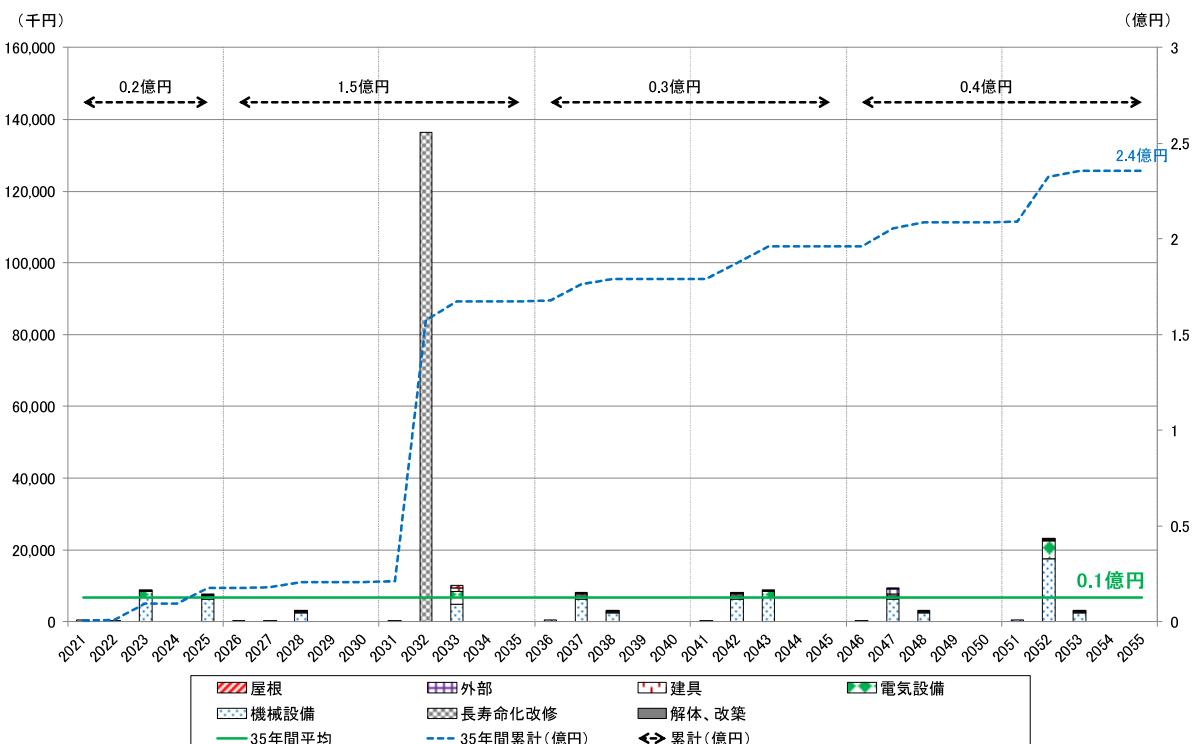


図4-7 保健・福祉施設の目標使用年数まで維持した場合の改修・更新等費用

5.7 行政系施設（庁舎等）

(1) 基本情報

施設名	建物名	構造	竣工年度 (年度)	延床面積 (m ²)	保全方法 施設配置
役場庁舎	本庁舎	鉄筋コンクリート造	1980	2850.70	予防保全
旧農林商工課 防災拠点施設	旧農林商工課事務室 防災倉庫	鉄骨造	1977 2018	200.00 414.00	事後保全 予防保全

(2) 劣化状況調査結果の概要

役場庁舎（本庁舎）	
構造躯体の健全度	・築40年の鉄筋コンクリート造である。
部位の劣化状況	・外壁はひび割れ、塗装のふくれが見られる。内部は随所に天井の雨漏りのシミが見られる。

役場庁舎（本庁舎）の劣化状況		
写真		
建物名	本庁舎	本庁舎
状況	天井ボードの目違い	蛍光灯器具に劣化
評価	C（広範囲に劣化）	C（広範囲に劣化）
写真		
建物名	本庁舎	本庁舎
状況	天井に雨漏り	軒下に雨漏り
評価	C（広範囲に劣化）	B（部分的に劣化）

写真		
建物名	本庁舎	本庁舎
状況	外壁の塗装面に膨らみ	屋上の防水シートに劣化
評価	C (広範囲に劣化)	C (広範囲に劣化)

旧農林商工課（旧農林商工課事務室）	
構造躯体の健全度	<ul style="list-style-type: none"> 築43年経過した鉄骨造である。 内部外部ともに劣化が進行し、更新時期を迎えている。
部位の劣化状況	<ul style="list-style-type: none"> 軒下に目違い等があり、危険な状況にある。

旧農林商工課（旧農林商工課事務室）の劣化状況		
写真		
建物名	旧農林商工課事務室	旧農林商工課事務室
状況	天井に雨漏り	軒下に目違いが発生
評価	D (早急に対応が必要)	D (早急に対応が必要)
写真		
建物名	旧農林商工課事務室	
状況	土間コンクリートにひび割れ	
評価	C (広範囲に劣化)	

(3) ロードマップ（予防保全）

<役場庁舎>

優先度： 中

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
本庁舎												
部 位 別	屋根・屋上	C										修繕
	外壁	C										修繕
	外部建具	C										修繕
	電気設備	B										修繕
	機械設備	B										修繕
長寿命化改修							改修					
解体、改築												

<防災拠点施設>

優先度： -

建物名		劣化	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12
防災拠点施設												
部 位 別	屋根・屋上				修繕					修繕		
	外壁				修繕					修繕		
	外部建具				修繕					修繕		
	電気設備				修繕					修繕		
	機械設備				修繕					修繕		
長寿命化改修												
解体、改築												

(4) 改修・更新等費用の見通し

行政系施設の35年間のライフサイクルコストは、約11.4億円で、1年間の平均は約0.3億円となります。当初5年間のライフサイクルコストは、約7.9億円、1年間の平均は約1.6億円となり、令和7年（2025）に、役場庁舎の長寿命化改修が予定され、費用の極度な増加が見込まれます。

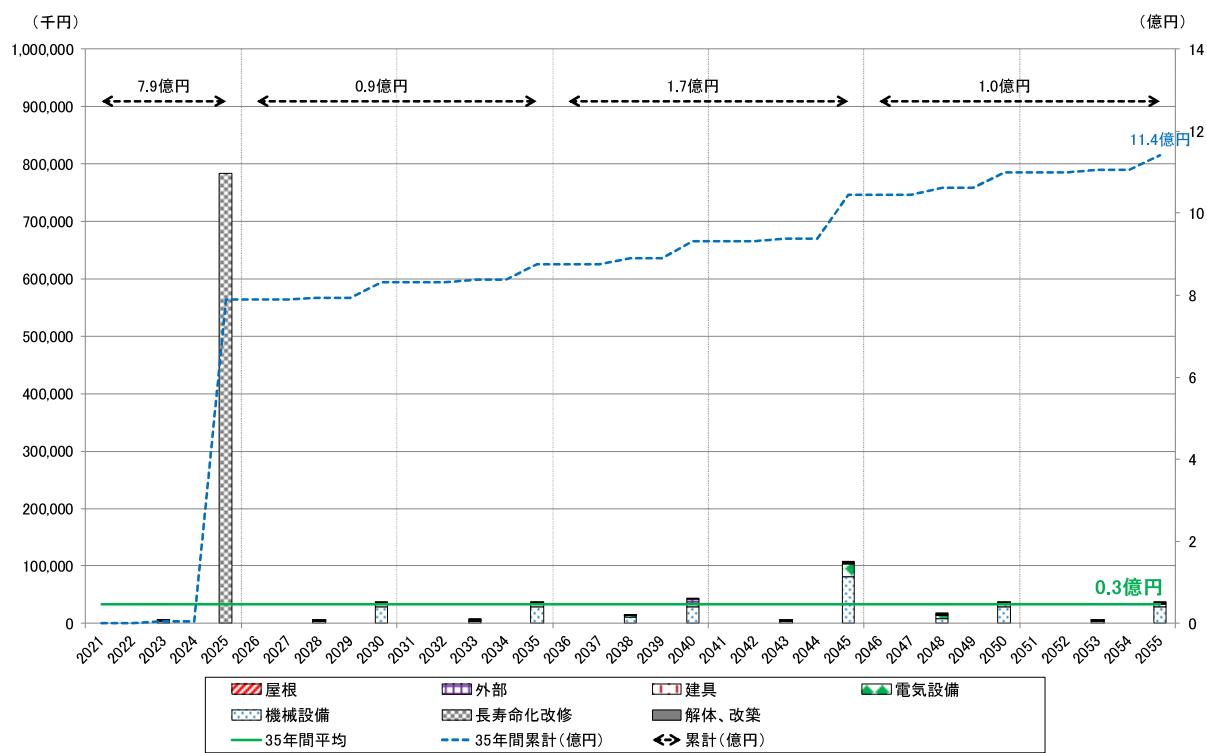


図4－8 行政系施設の目標使用年数まで維持した場合の改修・更新等費用

5.8 行政系施設（その他行政系施設）

(1) 基本情報

施設名	建物名	構造	竣工年度 (年度)	延床面積 (m ²)	保全方法 施設配置
消防団詰所	第1分団詰所	コンクリートブロック造	1985	65.03	事後保全
	第2分団詰所	鉄骨造	1984	59.71	事後保全
	第3分団詰所	コンクリートブロック造	1988	65.03	事後保全
	第4分団詰所	コンクリートブロック造	1983	55.12	事後保全
	第5分団詰所	コンクリートブロック造	1990	65.03	事後保全

(2) 劣化状況調査結果の概要

消防団詰所（第1分団詰所）	
構造躯体の健全度	・築35年のコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・開口部周辺にひび割れが見られる。

消防団詰所（第2分団詰所）	
構造躯体の健全度	・築36年の鉄骨造である。 ・基礎コンクリートが剥離している箇所がある。
部位の劣化状況	・内部の壁に穴が空いている。

消防団詰所（第2分団詰所）の劣化状況		
写真		
建物名	第2分団詰所	
状況	内部の壁に穴	
評価	D（早急に対応が必要）	

消防団詰所（第3分団詰所）	
構造躯体の健全度	・築32年のコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・クロスが剥がれている箇所がある。

消防団詰所（第4分団詰所）	
構造躯体の健全度	・築37年のコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・軒下のコンクリートがひび割れて落下の危険がある。 ・縦樋がサビついて切断されており、落下の危険がある。

消防団詰所（第4分団詰所）の劣化状況		
写真		
建物名	第4分団詰所	第4分団詰所
状況	軒下のコンクリートにひび割れ	縦樋がサビついて切断
評価	D（早急に対応が必要）	D（早急に対応が必要）

消防団詰所（第5分団詰所）	
構造躯体の健全度	・築30年のコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・大きな劣化は見られない。

5.9 公園

(1) 基本情報

施設名	建物名	構造	竣工年度 (年度)	延床面積 (m ²)	保全方法 施設配置
遺跡の森総合公園	車庫	コンクリートブロック造	1994	124.79	事後保全
	グランドステージ	鉄筋コンクリート造	1989	36.08	事後保全
	グランドベンチ	鉄筋コンクリート造	1989	81.88	事後保全
	アナウンス室	鉄筋コンクリート造	1989	25.74	事後保全
	便所 1	コンクリートブロック造	1994	27.95	事後保全
	便所 2	コンクリートブロック造	1988	23.10	事後保全
	便所 3	コンクリートブロック造 鉄骨造	1995 1988	27.95 63.13	事後保全
	シャワー棟				
	ゲートボール管理室	木造	1988	35.00	事後保全
身馴川公園	便所	プレハブ造	1997	13.92	事後保全
農村公園	便所	木造	2012	6.43	事後保全
産業団地公園	トイレ	プレハブ造	2019	13.80	事後保全

注) 遺跡の森総合公園は便所が3棟あるため、便所1、便所2、便所3とした。

(2) 劣化状況調査結果の概要

遺跡の森総合公園（車庫）

構造躯体の健全度	・築26年のコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・屋根の鉄骨連結部、柱脚にサビが見られる。

遺跡の森総合公園（グランドステージ）

構造躯体の健全度	・築31年の鉄筋コンクリート造である。
部位の劣化状況	・ステージ屋根の鉄骨に全体的にサビが見られる。

遺跡の森総合公園（グランドベンチ）

構造躯体の健全度	・築31年の鉄筋コンクリート造である。
部位の劣化状況	・壁の鉄筋が露出している。 ・天井のコンクリートにクラックが発生している。

遺跡の森総合公園（アナウンス室）

構造躯体の健全度	・築31年の鉄筋コンクリート造である。
部位の劣化状況	・侵入防止柵にサビついており、劣化が進んでいる。

遺跡の森総合公園（便所1）

構造躯体の健全度	・築26年のコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・内部のタイルの欠損が目立つ。 ・意匠の木材に、黒カビが発生している。

遺跡の森総合公園（便所2）	
構造躯体の健全度	・築32年のコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・屋上防水のシートがふくれや穴が開いている。 ・笠木にひび割れ、白華が多数見られる。

遺跡の森総合公園（便所3）	
構造躯体の健全度	・築25年のコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・屋上の防水シートの剥がれしており、劣化が著しい。 ・天井の仕上げ塗装が剥がれ落ちている。

遺跡の森総合公園（シャワー棟）	
構造躯体の健全度	・築32年の鉄骨造である。
部位の劣化状況	・渡り廊下の天井の鉄骨がサビついている。

遺跡の森総合公園（ゲートボール管理室）	
構造躯体の健全度	・築32年の木造である。
部位の劣化状況	・雨樋にたわみが見られる。 ・天井材に膨れが見られる。

身馴川公園（便所）	
構造躯体の健全度	・築23年のプレハブ造である。
部位の劣化状況	・雨樋、排水パイプ等の接合部、止め金具等の劣化が見られる。

農村公園（便所）	
構造躯体の健全度	・築8年の木造である。
部位の劣化状況	・外壁にひび割れが見られる。

5.10 その他

(1) 基本情報

施設名	建物名	構造	竣工年度 (年度)	延床面積 (m ²)	保全方法 施設配置
ストックヤード	ストックヤード	コンクリートブロック造	1988	20.44	事後保全
車庫（建設車両）	建設車両車庫	軽量鉄骨造	1984	62.37	事後保全
庁用車車庫	庁用町長車車庫	軽量鉄骨造	1976	126.00	事後保全
	庁用車車庫	軽量鉄骨造	1981	281.40	事後保全
	庁用車バス車庫	軽量鉄骨造	1995	87.72	事後保全

(2) 劣化状況調査結果の概要

ストックヤード（ストックヤード）

構造躯体の健全度	・築32年のコンクリートブロック造である。
部位の劣化状況	・屋根が劣化しており、窓ガラスが割れている。

車庫（建設車両）（建設車両車庫）

構造躯体の健全度	・築36年の軽量鉄骨造である。
部位の劣化状況	・鉄骨やスレートがサビついている。

庁用車車庫（庁用町長車車庫）

構造躯体の健全度	・築44年の軽量鉄骨造である。
部位の劣化状況	・鉄骨が全体にサビついている。

庁用車車庫（庁用車車庫）

構造躯体の健全度	・築39年の軽量鉄骨造である。
部位の劣化状況	・外壁が劣化している。

庁用車車庫（庁用車バス車庫）

構造躯体の健全度	・築25年の軽量鉄骨造である。
部位の劣化状況	・シャッターが劣化している。

第6章 継続的運用方針

6.1 情報基盤の整備と活用

施設の基本情報、光熱水費等の管理費や劣化状況調査、修繕の履歴を一元管理することで、施設の性能評価、保全のコスト算定や継続的な施設管理に活用できるように、記載項目、内容を設定します。

6.2 推進体制等の整備

各所管課と総合政策課とが連携し、全庁的な体制で本計画のマネジメントの対応を図っていきます。

また、施設の維持管理については、各施設の職員による劣化状況調査や法定点検により、不具合の早期発見と修繕対応を図ります。

6.3 フォローアップ

計画の進捗状況を把握・評価し、状況に応じて適切に改善を行います。そのため、P D C Aサイクルの考え方に基づいて計画の推進に取り組みます。

特に、計画の見直しに際しては、長期保全の実施状況、老朽化の状況を評価し、再検討を行います。

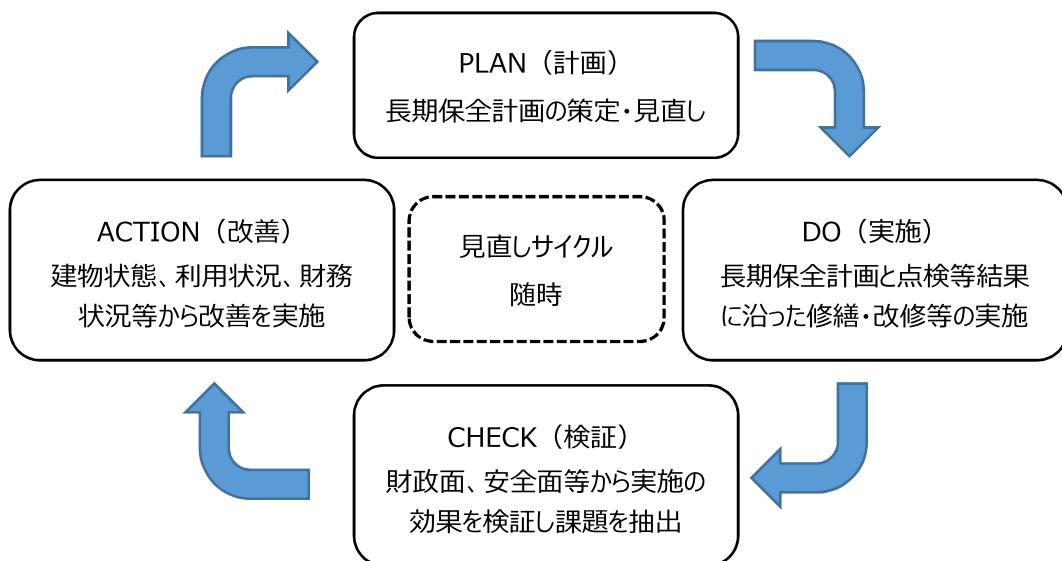


図 6-1 P D C A サイクルのイメージ